

Canon

BCTV Zoom Lens

UHD X5

CJ15ex4.3B

CJ20ex5B

CJ25ex7.6B

CJ27ex7.3B

UHD GC

CJ14ex4.3B

CJ18ex7.6B

CJ18ex28B

CJ24ex7.5B

取扱説明書「レンズ」

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

－ はじめに －

このたびはキャノンBCTVズームレンズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本製品の取扱説明書は以下の内容で構成され、下記の製品モデルに適用されます。

- 取扱説明書「はじめにお読みください」(製品同梱)
- 取扱説明書「規制」(製品同梱)
- 取扱説明書「レンズ」(Web)
- 取扱説明書「情報ディスプレイ」(Web)

	型名	IASE T	IASE-C T
UHDxs	CJ15ex4.3B	●	●
	CJ20ex5B	●	●
	CJ25ex7.6B	●	●
	CJ27ex7.3B	●	●
UHDgc	CJ14ex4.3B	●	●
	CJ18ex7.6B	●	●
	CJ18ex28B	●	●
	CJ24ex7.5B	●	●

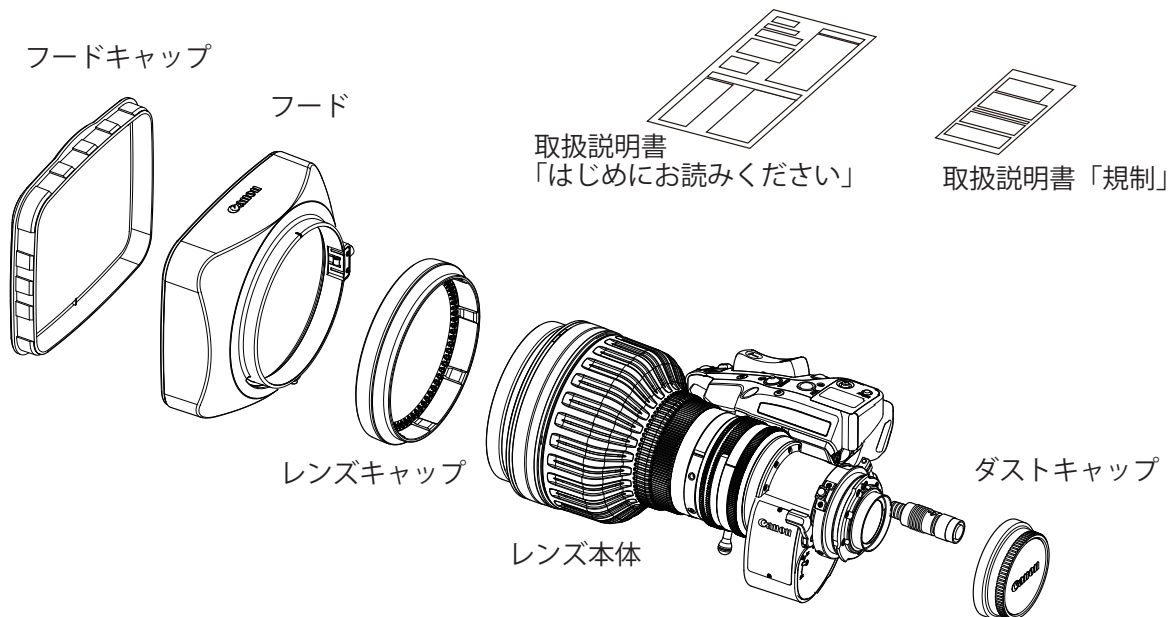
この取扱説明書に記載されているイラストは一例です。形状は機種および仕様により一部異なります。

本製品のファームウェアは常に最新のバージョンにしてお使いください。
ファームウェアの配信開始以降は、サポートページから最新バージョンのファームウェアをダウンロードすることができます。ファームウェアの最新バージョンの有無やアップデートの方法については、以下のホームページにてご確認ください。

<https://cam.start.canon/>

商品構成

ご使用を始める前に以下のものがすべてそろっていることをご確認ください。不足品がある場合は、お求めになった代理店または販売店までご連絡ください。



仕様により、上記付属品以外のアクセサリが必要になる場合があります。詳細はお求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

製品および取扱説明書に記載されている安全に関する警告や注意事項は、必ず守ってください。
これら危険防止の警告や注意事項にそった取り扱いをしない場合、けがや事故に至る可能性があります。この取扱説明書をよく読んで、十分に理解した上で本製品を正しくご使用ください。
また、この取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう大切に保管してください。

この取扱説明書の中では、お客様および他の人々の安全をお守りし、事故を未然に防止するための警告文や注意文に以下のシンボルマークと言葉を使用しています。

 警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れがある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
 注意	取り扱いを誤った場合に、負傷または物的損害を負う恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
『ご注意ください』	操作する上での注意事項、または推奨事項です。 ここに記載されていることを守らないと、製品が正しく機能しない可能性があります。 また、操作上における有益な情報も記載されています。

取り扱いについて

警告

1. 水をかけたり、濡らしたりしないでください。万一、内部に水が入った場合は使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
2. レンズで太陽や輝度の高い光源をのぞかないでください。目に障害を起こす原因となることがあります。
3. ケーブルを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。ケーブル部を引っ張ると、断線などケーブルが傷つき、その部分から漏電して火災や感電の原因となることがあります。

注意

1. 本製品を持ち運ぶときは、落下させないようにご注意ください。落下させますと、けがの原因となることがあります。
2. 締め付け部は、しっかりと締め付けてください。締め付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあります。
3. 定期的（目安として6か月～1年ごと）に取り付け部に緩みが無いか点検してください。取り付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあります。
4. 製品を炎天下で使用すると、製品の内部が思わぬ高温になる場合があります。高温になる状況が想定される場合は、お客様にて適宜温度対策をお願いいたします。

『ご注意ください』

1. 本製品に強い衝撃を与えると故障の原因となることがあります。
2. このレンズは防滴構造にはなっておりません。雨・雪など、水滴に直接さらして使用しないでください。故障の原因となることがあります。
3. 粉塵の多い場所での使用、またはレンズの着脱には十分ご注意ください。製品内に粉塵が入ると、故障の原因となることがあります。
4. 急激な温度変化を与えますと、レンズの内部が曇ってしばらくの間使用できなくなることがあります。曇り対策処置など十分にご配慮ください。
5. 化学薬品を使用するなど特殊な環境のもとでレンズを使用される場合には、あらかじめご相談ください。特殊な環境下で使用するると故障の原因となることがあります。

異常時の対処方法について



警告

万一下記のような異常が発生した場合には、ただちにケーブルをカメラから抜き、レンズをカメラから取り外して、お求めになった代理店または販売店までご連絡ください。

- ・発煙、異臭、異常音などが発生した場合
- ・異物(金属や液体など)が製品内部に入ってしまった場合

保守・点検について



警告

本製品の外装を清掃するときは、必ずケーブルを抜き、レンズをカメラから取り外してから行ってください。また、ベンジン・シンナーなど引火しやすいものは、使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

『ご注意ください』

1. レンズの表面に付いたゴミやほこりは、ブローアーで吹き飛ばすか、柔らかい刷毛で軽く払ってください。指紋やシミが付いた場合は、市販のレンズクリーナーを少量浸した清浄な柔らかい綿布またはレンズクリーニングペーパー(シルボン紙など)で軽くふき取ってください。中心から渦を巻きながら周辺に向かってふき上げます。ゴミなどが付着したままで強くするとレンズ表面に傷がつくことがありますのでご注意ください。
2. 使用条件・頻度・環境などにより異なりますが、毎年一回程度は保守点検を実施し、必要な場合にはオーバーホールなどを行ってください。

保管について



警告

使用しないときは、必ずレンズに付属のキャップやカバーを付けてください。キャップやカバーなどを付けない状態で直射日光に当たるとレンズの集光作用により火災の原因となることがあります。

『ご注意ください』

1. 霧や小雨などで湿気を含んだ場合には、速やかに乾いた布で水分をふき取り、乾燥剤(できるだけ新しい乾燥剤を使用)とともに、ビニール袋に入れて密封し、完全に内部の湿気を除去してください。カビや故障の原因となることがあります。
2. 別手配のキャリングケースをご使用になる場合は、お求めになった代理店または直接キヤノン(株)へ必ずご相談ください。ケースに使われる接着剤等の成分が、製品に悪影響を与える可能性があります。

お客様へ

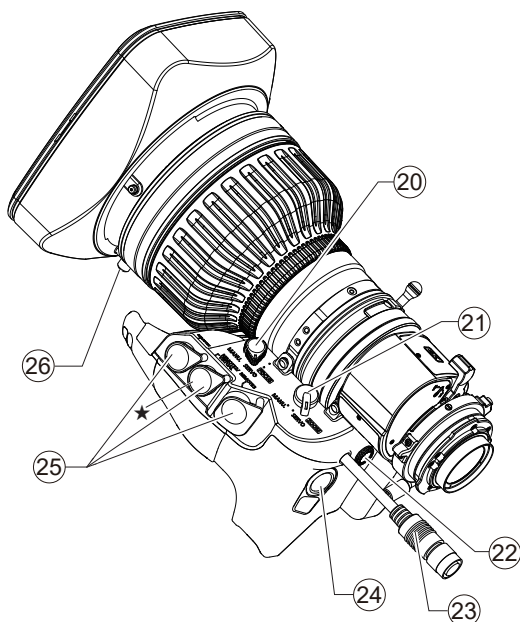
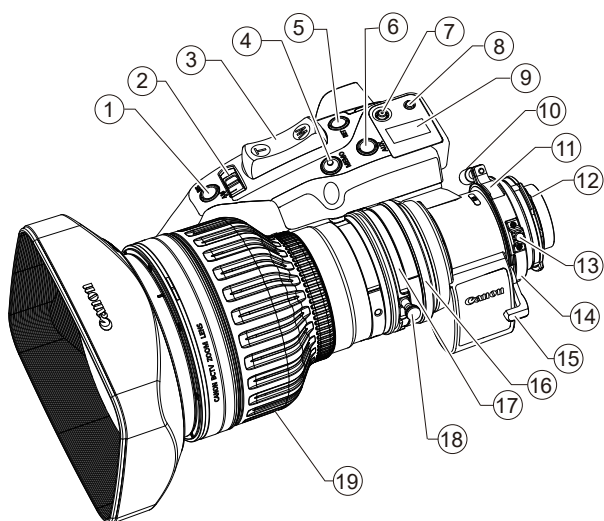
1. お客様の誤った操作に起因する障害については、当社は、責任を負いかねますのでご了承ください。
2. 本製品の品質・機能および取扱説明書に関して、お客様の使用目的に対する適合性・市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、そこから生じる直接的・間接的損害に対しても責任を負いかねます。
3. 本製品の仕様・商品構成・外観図などは、お断りなく変更することがあります。
4. 修理や保守点検、本取扱説明書に記載されていない諸調整などについては、お求めになった代理店または販売店までお問い合わせください。
5. お客様のご都合で、当社に相談なく改造が行われた製品に対しては、その修理などをお引き受けできない場合がありますのでご注意ください。

この取扱説明書の著作権はキヤノン株式会社にあります。

この取扱説明書の一部または全部をキヤノン株式会社の承諾書なしに、複写・複製または転記することは禁止されています。

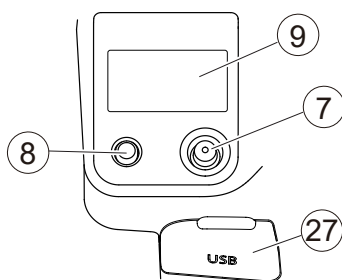
1 各部の名称		6	
2 取り付け・接続	2-1. カメラへ取り付ける 2-2. フードを取り付ける 2-3. 電源を投入する	7	
3 調整	3-1. フランジバックを調整する 3-2. オートアイリスゲインを調整する	8	
4 設定	4-1. Top 画面／ Sub 画面 4-2. ユーザー設定 4-3. オートアイリスゲインの調整 4-4. 各種スイッチへの機能割り付け	9	
5 操作・撮影	5-1. ズーム操作 5-2. フォーカス操作 5-3. エクステンダー操作 5-4. アイリス操作 5-5. マクロ操作	14	
6 USB コネクター	6-1. USB コネクターの利用 6-2. USB デバイス（USB メモリー）仕様 6-3. USB ホスト（PC）仕様	24	
7 製品仕様		27	
付録	外観図	巻末	

1 各部の名称



- ①アイリス瞬時オートスイッチ
 - ②アイリスA/Mスイッチ
 - ③ズームシーソースイッチ
 - ④MEMOスイッチ
 - ⑤RETスイッチ
 - ⑥AUXスイッチ
 - ⑦ディスプレイ操作キー
 - ⑧ディスプレイスイッチ
 - ⑨ディスプレイ
 - ⑩F.B.ロックねじ
 - ⑪F.B.調整リング
 - ⑫位置決めピン
 - ⑬マクロボタン
 - ⑭マクロリング
 - ⑮エクステンダー切り換えレバー
 - ⑯アイリスリング
 - ⑰ズームリング
 - ⑱ズームレバー
 - ⑲フォーカスリング
 - ⑳フォーカスサーボ/マニュアル切り換えノブ
 - ㉑ズームサーボ/マニュアル切り換えノブ
 - ㉒最高ズームスピード調整ボリューム
 - ㉓電源/アイリスコントロールケーブル
 - ㉔VTRスイッチ
 - ㉕リモートコネクター(20ピン)
- 注)ただしバーチャル出力は★印のコネクターのみ有効
 ズーム、フォーカスコントロール用アクセサリ(20ピン)を接続します。また、★印のコネクターは各種バーチャルシステムのインターフェース機能も備えており、ズーム、フォーカス、アイリスの各位置信号を出力可能です。
- ㉖フードロックノブ

情報ディスプレイ部



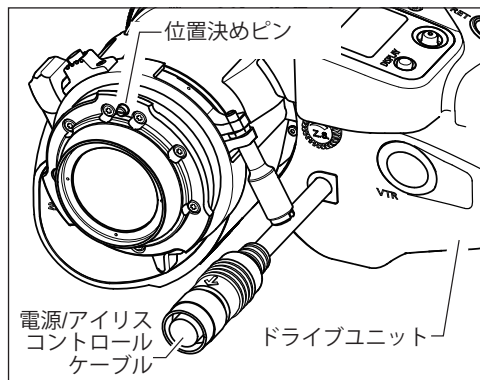
- ⑦ディスプレイ操作キー
カーソルを上下左右 () へ動かします。中央部分 () を押して確定します。
- ⑧ディスプレイスイッチ
ディスプレイの表示をON/OFFします。
- ⑨ディスプレイ
操作しない状態が2分以上続くと表示が消えます。
- ㉗ USB コネクター(保護カバー内)
USBデバイス(USBメモリー)を接続することで、レンズ設定データのエクスポートやインポートが可能です。
また、レンズ管理情報などを記録したログや、レンズ作動履歴などを記録したサービスログをエクスポートすることも可能です。

詳細については、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

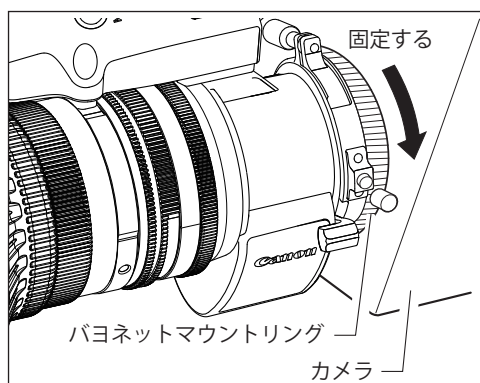
2 取り付け・接続

2-1. カメラへ取り付ける

レンズを接続する前にカメラの電源をOFFにしてください。



- 1 レンズのダストキャップを外します。
- 2 レンズ位置決めピンをカメラマウント面にある溝に合わせ、レンズをカメラマウント面に密着させます。
- 3 カメラ側のパヨネットマウントリングを回してレンズを固定します。
- 4 レンズ側の電源／アイリスコントロールケーブルをカメラに接続します。

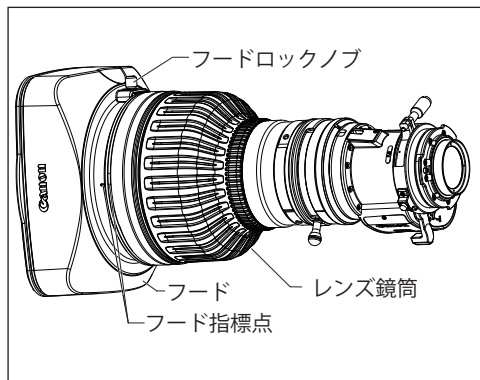


『ご注意ください』

1. レンズ本体やドライブユニット（バンド部を含む）を持ってカメラ全体の重量を支えないでください。マウント部、ドライブユニット部などに無理な力がかかってレンズ各部機構をいためることがあります。
2. 定格電圧：DC12V
入力電圧範囲：DC10V ～ 17V
バッテリーやアダプターをご使用の際は、メーカーにより定格電圧が高めに出力されている場合がありますので、必ず上記電圧範囲でご使用ください。入力電圧範囲外の電圧で使用された場合、ドライブユニットの故障の原因となることがあります。また、レンズ電源入力には極性があります。バッテリーやアダプターをレンズに接続する際は、電源ケーブルの極性を必ずご確認ください。誤った極性で接続すると故障の原因となることがあります。

2-2. フードを取り付ける

出荷時は、レンズキャップが取り付けられています。最初にこのレンズキャップを取り外します。



- 1 フードをレンズに取り付けます。
- 2 フードとレンズ鏡筒に付いている、それぞれの指標点を合わせます。
- 3 フードロックノブを締めます。

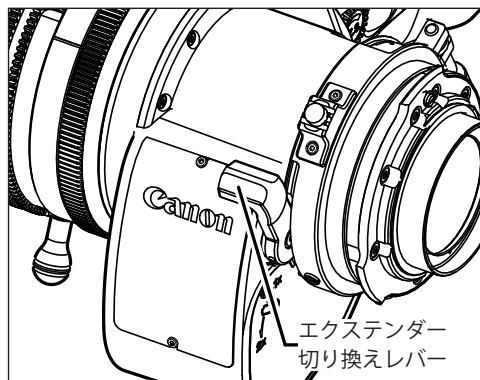
2-3. 電源を投入する

カメラの電源をONにします。レンズにも電源が供給されます。

3 調整

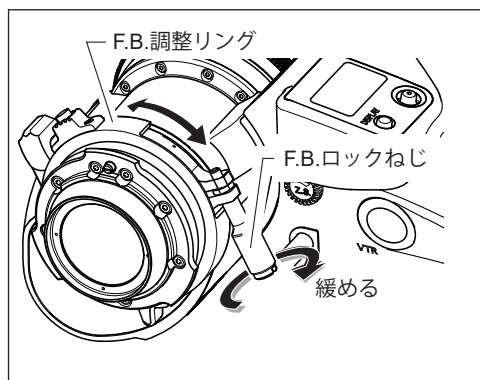
3-1. フランジバックを調整する

ズームレンズの結像面とカメラの撮像面が合致していないと、ズーム操作を行ったときフォーカスが合わなくなりピンボケになります。以下の手順でレンズのフランジバックを調整します。



- 1 適当と思われる距離（下表参照）に被写体を定めます。コントラストのはっきりしたものを被写体として利用すると作業がしやすくなります。

	型名	被写体までの距離
UHDxs	CJ15ex4.3B	約 1-3m
	CJ20ex5B	約 2-5m
	CJ25ex7.6B	約 2-5m
	CJ27ex7.3B	約 2-5m
UHDgc	CJ14ex4.3B	約 1-3m
	CJ18ex7.6B	約 2-5m
	CJ18ex28B	約 5-7m
	CJ24ex7.5B	約 2-5m



- 2 エクステンダー切り換えレバーを 1× にします。
- 3 アイリス操作でレンズの絞りを開放（オープン）にします。
- 4 レンズのズームを望遠端（テレ端）いっぱいにします。
- 5 フォーカス操作で焦点（ピント）を合わせます。
- 6 レンズのズームを広角端（ワイド端）いっぱいにします。
- 7 レンズの F.B. ロックねじを緩め、F.B. 調整リングを回して焦点（ピント）を合わせます。
- 8 4 から 7 の操作を 2、3 回繰り返して、ズーム両端での焦点（ピント）を合わせます。
- 9 F.B. ロックねじを締めます。

3-2. オートアイリスゲインを調整する

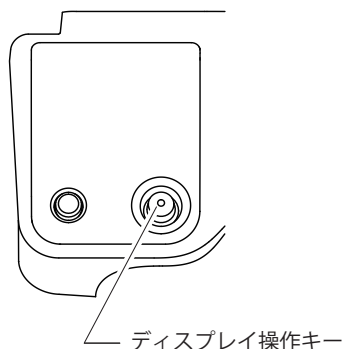
オートアイリスゲインはディスプレイを使い調整します。出荷時に適正に調整されていますが、調整値を変更する場合は再調整を行います。アイリスゲインの調整手順については、本取扱説明書『4-3. オートアイリスゲインの調整』および取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

『ご注意ください』

アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う場合は、カメラのアイリスモードをオートアイリス状態に設定してください。カメラの設定方法についてはカメラの取扱説明書をご覧ください。

4 設定

本製品は情報ディスプレイを使用して、レンズの各種設定を行うことができます。



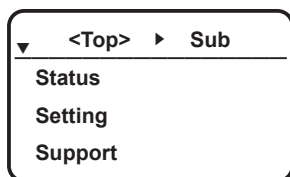
ディスプレイ操作キー

設定を行う場合には、情報ディスプレイのディスプレイ操作キーを上下左右 (◀ ▶ ▲ ▼) へ倒して動かします。中央部分 (Set) を押して確定します。

4-1. Top画面／Sub画面

ディスプレイスイッチを押したときに最初に表示される画面がTop画面です。Top画面からレンズの各種設定や設定状況の確認を行う画面へ遷移することができます。またTop画面の1行目にカーソルがある状態でディスプレイ操作キーの右キー (▶) を倒し、Sub の表示位置へカーソルを移動させるとSub画面に遷移します。

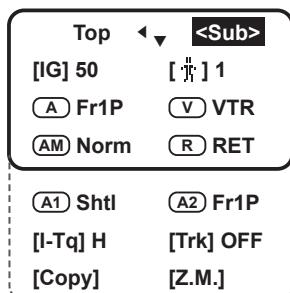
Top 画面



Sub	12種類の設定メニューを表示します。
Status	レンズの状態表示メニュー (設定はできません。)
Setting	レンズの設定メニュー
Support	レンズのサポート情報表示メニュー

Sub画面では、オートアイリスゲインの調整やユーザーの切り換え、各種スイッチへの機能割り付け、アイリストラックの設定、ズームトラックのON/OFF切り換え、ユーザー設定のコピー、ズームシーソースイッチのカーブ特性設定が可能です。

Sub 画面

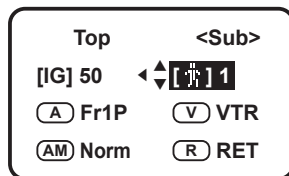


[IG]	オートアイリスゲインの調整
[A]	ユーザーの切り換え
[A]	AUXスイッチへの機能割り付け
[V]	VTR スイッチへの機能割り付け
[AM]	アイリス A/M スイッチの動作設定
[R]	RET スイッチへの機能割り付け
[A1]	AUX1 スイッチへの機能割り付け
[A2]	AUX2 スイッチへの機能割り付け
[I-Tq]	アイリストラックの設定
[Trk]	ズームトラックの ON/OFF 切り換え
[Copy]	ユーザー設定のコピー
[Z.M.]	ズームシーソースイッチのカーブ特性設定

4-2. ユーザー設定

ユーザーごとに各種スイッチへの機能割り付けが行えます。使用するユーザーに切り換えた後、各種スイッチへの機能割り付けを行ってください。

Sub 画面



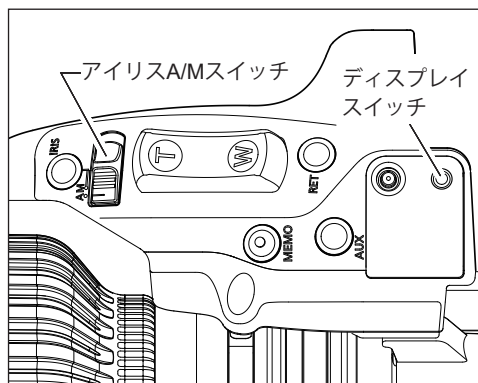
[F1] ユーザーの切り換え

Sub画面でユーザーの切り換えができます。左図はユーザーが1であることを示しています。ユーザーには、TEMP/1/2/3/Lockが表示されます。ユーザー1、2、3の状態では、設定を保存することができます。TEMP状態では設定を保存することはできません。Lock状態では、ユーザーの切り換えやデータの設定が制限されます。ユーザーを変更するためにはLock状態を解除する必要があります。Lock状態の解除や設定については取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

[F1]	ユーザー				ロック状態
選択項目	TEMP	1	2	3	Lock
機能	一時的に設定変更可能	設定の保存可能	設定の保存可能	設定の保存可能	ユーザーの切り換え不可

4-3. オートアイリスゲインの調整

オートアイリスゲインは、出荷時に適正に調整されていますが、調整値を変更する場合は、以下の手順でアイリスの動作を確認しながらゲインを調整します。設定したオートアイリスゲインは全てのユーザーで共通に使用します。

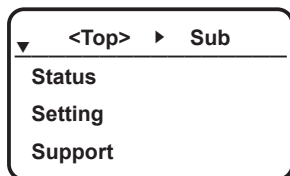


- 1 ドライブユニットのアイリス A/M スイッチを“A”（オート）側にします。

『ご注意ください』

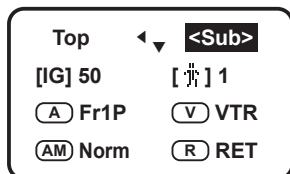
アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う場合は、カメラのアイリスモードをオートアイリス状態に設定してください。カメラの設定方法についてはカメラの取扱説明書をご覧ください。

Top 画面



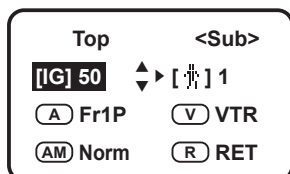
- 2 ディスプレイスイッチを押してディスプレイを点灯させます。Top 画面が表示されます。

Sub 画面



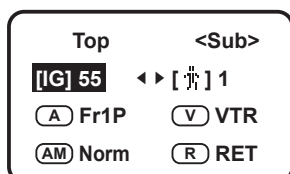
- 3 ディスプレイ操作キーの右キー (⏮) を 1 回倒します。カーソルが Sub の表示位置へ移動し、Sub 画面が表示されます。

Sub 画面



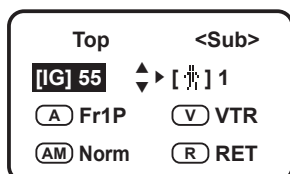
- 4 ディスプレイ操作キーの下キー (⏭) を 1 回、次に左キー (⏪) を 1 回倒します。カーソルは [IG] の表示位置へ移動します。この位置でディスプレイ操作キーの中央 (⏴) を押します。カーソルは [IG] の位置で点滅します。

Sub 画面



- 5 ディスプレイ操作キーの右キー (⏮) あるいは左キー (⏪) でアイリスゲインを調整します。アイリスゲイン調整値は [IG] 表示の右側の数値で確認できます。左図はアイリスゲインの調整値を 55 に変更した場合です。レンズ本体のアイリスリングを見て、ハンチングが起こらない範囲で、ゲインが適正になるように調整してください。

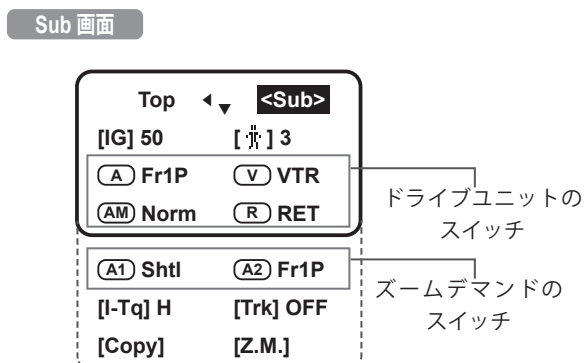
Sub 画面



- 6 適正な値にできたら、ディスプレイ操作キーの中央 (⏴) を押します。カーソルが点滅状態から点灯状態へ変化して、アイリスゲインの値が確定します。

4-4. 各種スイッチへの機能割り付け

ドライブユニットのスイッチやデマンドのスイッチへ機能の割り付けを行うことが可能です。あらかじめ割り付けを行うユーザーに切り換えた後、スイッチへ機能の割り付けを行ってください。



Sub 画面の初期画面でドライブユニットの4つのスイッチへの機能割り付けが可能です。ディスプレイ操作キーを下方向 () に操作して画面をスクロールさせることで、点線で囲まれたデマンドの2つのスイッチへの機能割り付け、アイリストールクの設定、ズームトラックのON/OFF 切り換え、ユーザー設定のコピーやズームシーソースイッチのカーブ特性設定が可能です。

A AUX スイッチ

ドライブユニットの AUX スイッチには出荷時『フレーミングプリセット 1 (設定速度)』機能が割り付けられていますが、表 4-4-1 の機能を割り付けることが可能です。

詳細は取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-3 AUX スイッチへの機能割り付け』をご覧ください。

V VTR スイッチ

ドライブユニットの VTR スイッチには出荷時『VTR』機能が割り付けられていますが、表 4-4-1 の機能を割り付けることが可能です。

詳細は取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-4 VTR スイッチへの機能割り付け』をご覧ください。

AM アイリス A/M スイッチ

ドライブユニットのアイリス A/M スイッチの動作を変更することができます。出荷時は『Norm (標準)』動作が割り付けられていますが、表 4-4-2 の動作を設定することが可能です。

詳細は取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-5 アイリス A/M スイッチの動作設定』をご覧ください。

R RET スイッチ

ドライブユニットの RET スイッチには出荷時『RET』機能が割り付けられていますが、表 4-4-1 の機能を割り付けることが可能です。

詳細は取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-6 RET スイッチへの機能割り付け』をご覧ください。

A1 AUX1 スイッチ

ズームデマンド ZSD シリーズの AUX1 スイッチには出荷時『シャトルショット』機能が割り付けられていますが、表 4-4-1 の機能を割り付けることが可能です。

詳細は取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-7 AUX1 スイッチへの機能割り付け』をご覧ください。

A2 AUX2 スイッチ

ズームデマンド ZSD シリーズの AUX2 スイッチには出荷時『フレーミングプリセット 1 (設定速度)』機能が割り付けられていますが、表 4-4-1 の機能を割り付けることが可能です。

詳細は取扱説明書「情報ディスプレイ」『2-8 AUX2 スイッチへの機能割り付け』をご覧ください。

4 設定

4-4-1. 各種スイッチへの機能割り付け一覧

選択項目	VTR	RET	Fr1P	Fr1F	Fr2P	Fr2F	Sped	Shtl	NON* ¹
機能	VTR	RET	フレーミング プリセット1 (設定速度)	フレーミング プリセット1 (最高速度)	フレーミング プリセット2 (設定速度)	フレーミング プリセット2 (最高速度)	スピード プリセット	シャトル ショット	機能なし
選択項目	RET2* ²	RET3* ²	RET4* ²	RET5* ²	RET6* ²	RET7* ²	RET8* ²		
機能	RET2	RET3	RET4	RET5	RET6	RET7	RET8		

*¹: AUX、AUX1 および AUX2 スイッチに割り付け可能

*²: RET2 から RET8 の設定は、「RET2-8 機能の ON/OFF 切り換え」の設定が ON のときに表示され、機能を割り付けることができます。

4-4-2. アイリスA/Mスイッチの動作設定一覧

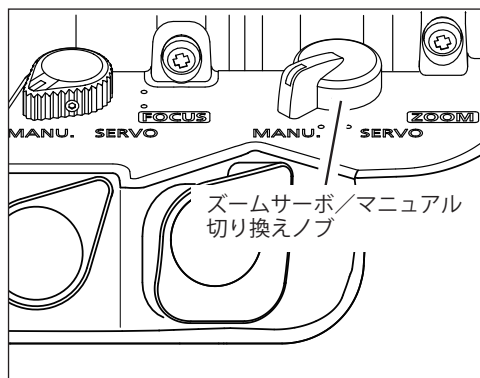
選択項目	Norm	Reve	Auto	Manu
機能	標準動作 A : Auto M : Manual	逆転動作 A : Manual M : Auto	オートのみ A : Auto M : Auto	マニュアルのみ A : Manual M : Manual

詳細については、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

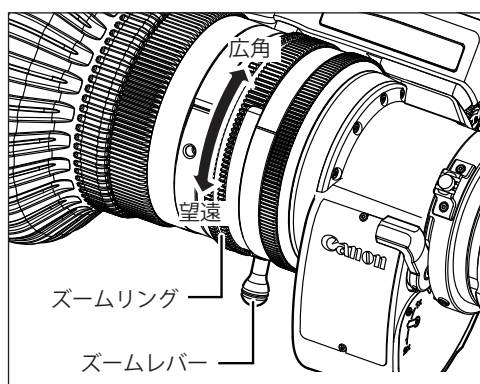
5 操作・撮影

5-1. ズーム操作

5-1-1. マニュアルズーム操作



- 1 ドライブユニット底面のズームサーボ/マニュアル切り換えノブを MANU. 側にします。



- 2 ズームリング（またはズームレバー）を回してズーム操作を行います。

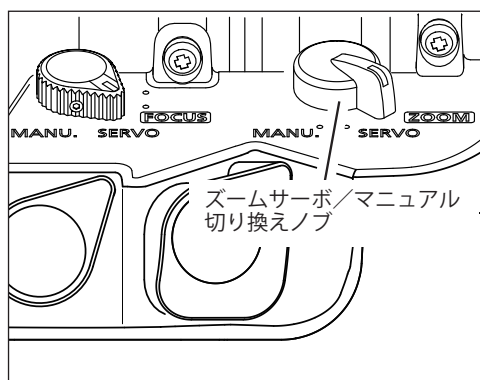
『ご注意ください』

（クラッチレスズーム機構搭載レンズを除く）

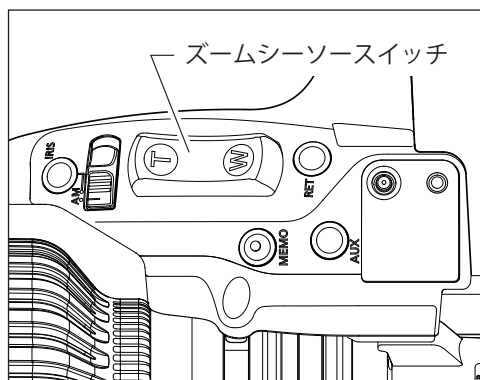
マニュアルズーム操作を行うときは、必ずズームサーボ/マニュアル切り換えノブを MANU. 側にしてから行ってください。SERVO 側のまま強引にマニュアルズーム操作を行いますと、故障の原因となることがあります。

5-1-2. サーボズーム操作

ドライブユニットに内蔵されているモーターを駆動させズーム操作を行うことができます。



- 1 ズームサーボ/マニュアル切り換えノブを SERVO 側にします。



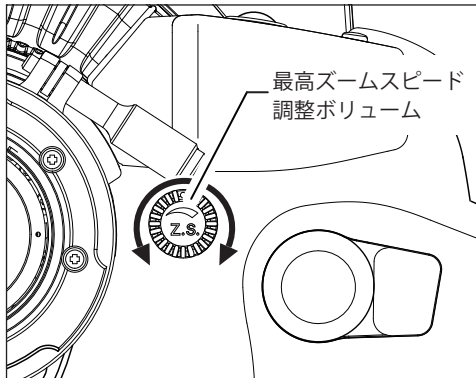
- 2 ズームシーソースイッチを押してズーム操作を行います。スイッチの押し込み具合によりズームスピードが変わります。深く押し込むほど、ズームスピードが速くなります。

『ご注意ください』

USB デバイス（USB メモリー）の読み出し、書き込みを行っている場合は、ズーム、フォーカス操作はマニュアル操作のみ可能です。

5-1-3. 最高ズームスピードの調整

ズームシーソースイッチを最も深く押したときの最高ズームスピードは、最高ズームスピード調整ボリュームで調整できます。



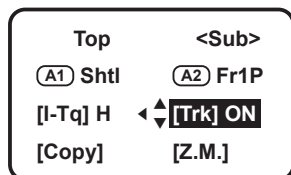
- 1 最高ズームスピード調整ボリュームを時計方向に回すと最高ズームスピードは高速になり、反時計方向に回すと最高ズームスピードは低速に変化します。

情報ディスプレイでの設定も可能です。詳細については、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

5-1-4. ズームトラック機能(サーボのみ)

ズームコントロール域(ズームトラック)を任意のズーム範囲で規制し、望遠端(テレ端)および広角端(ワイド端)を仮想的に設定できます。ズームトラック機能を使用する場合、あらかじめ機能をONにしておく必要があります。

A: ディスプレイ上で ON/OFF を切り換える



- 1 ディスプレイスイッチを押して、ディスプレイを点灯させます。
- 2 ディスプレイ操作キーを操作し [Trk] にカーソルを移動し、ディスプレイ操作キーの中央 (Set) を押します。[Trk] と現状の設定が点滅表示になります。
- 3 ディスプレイ操作キーの右キー (▶) または左キー (◀) を操作し、設定を ON または OFF に切り換えます。
- 4 ディスプレイ操作キーの中央 (Set) を押して、確定します。

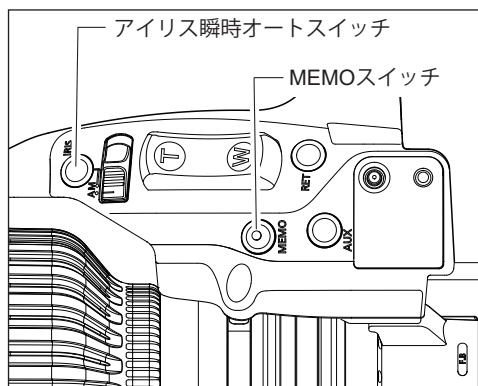
詳細な設定については、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

B: スイッチ操作で ON/OFF を切り換える

	切り換え操作	動作	お知らせ方法
ONにする	MEMOスイッチとアイリス瞬時オートスイッチを同時に	前回固定したズーム範囲に固定される(前回設定していない場合はメカ端点)	現在のズーム位置から近い方の設定位置に自動的にズーミングする
OFFにする	3秒間以上押し続ける	ズーム範囲がメカ端点になる	現在のズーム位置から近い方のメカ端点位置に自動的にズーミングする

・ ズームトラック位置を設定する

ズームトラックの位置設定をする前に、あらかじめズームトラック機能を ON にします。



- 1 設定するズームトラック位置にズーミングします。
- 2 ズーム位置を保持したまま、MEMOスイッチを押しながらアイリス瞬時オートスイッチを押します。望遠側であれば望遠端、広角側であれば広角端のズームトラック位置として記憶されます。
- 3 望遠側、広角側それぞれに1～2項の操作で設定を行います。どちらか一方の設定も可能です。再設定する場合は、1～3項の操作を行います。(あとから設定された位置に情報が書き換えられます。)

1. ズームトラック位置を再設定する場合、サーボズーム操作では、ズーム位置を設定端点よりメカ端点側に移動できません。このような場合、ズームトラック機能を一度OFFにして、下記のいずれかを行ってください。
 - ・ズームシーソースwitchを操作してズーミングを行う。
 - ・手動で操作する。
2. ズームトラック位置は最大2か所(望遠側、広角側)まで設定することが可能ですが、レンズのズーム域の中間からどちらか片側に片寄って、2か所設定することはできません。
(この場合、あとから設定された位置が望遠側あるいは広角側のズームトラック位置として記憶されます。)

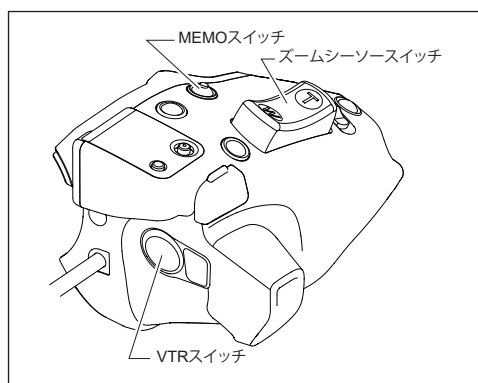
5-1-5. シャトルショット（サーボのみ）

シャトルショットとは、現在のズームポジションとあらかじめ登録しておいたズームポジションを最高速で切り換える機能です。



シャトルショット機能を使用するには、シャトルショット機能をドライブユニットのVTR、RET、AUXスイッチ、もしくはズームデマンドのAUX1、AUX2スイッチのいずれかに割り付ける必要があります。本取扱説明書では、VTRスイッチにシャトルショット（Shtl）機能を割り付けた場合について説明します。

・ シャトルメモリーポジションを設定する



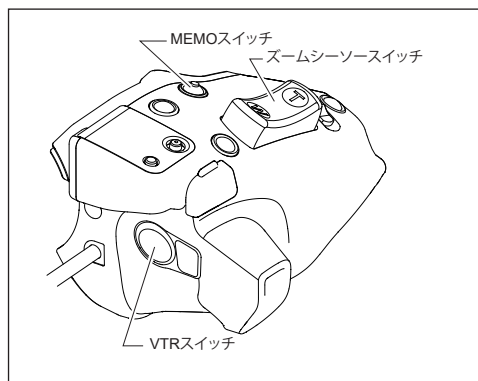
- 1 任意のポジションにズーミングし、そのポジションのまま、MEMO スイッチを押しながら VTR スイッチ（Shtl 機能割り付け）を押します。

1. 設定したシャトルメモリーポジションは、後述のフレーミングプリセットで設定するポジションとは別に記憶されます。また、このとき設定したポジションは電源 OFF 後も記憶されます。
2. Shtl 機能を優先させているため、Shtl 機能を割り付けたスイッチを押している間はズームシーソースイッチによる操作は行えません。

5-1-6. スピードプリセット（サーボのみ）

スピードプリセットとは、あらかじめ登録しておいたズームスピードを何度も再現できる機能です。ドライブユニットのVTR、RET、AUXスイッチ、もしくはズームデマンドのAUX1、AUX2スイッチのいずれかにスピードプリセット（Sped）機能を割り付ける必要があります。本取扱説明書では、VTRスイッチにスピードプリセット（Sped）機能を割り付けた場合について説明します。

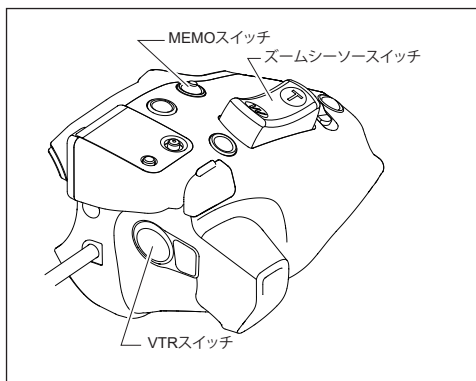
・ ズームスピードおよびズーム方向を記憶する



- 1 記憶させたいズームスピードとズーム方向（望遠側または広角側）にズームシーソースイッチを操作したまま MEMO スイッチを押します。

記憶したズームスピードは、フレーミングプリセットに反映されます。

• スピードプリセットの操作方法



- 1 VTRスイッチ（Sped 機能割り付け）を押すと、記憶したスピードと方向（望遠側または広角側）に向かってズームを始め、ズーム端へ到達すると停止します。

• スピードプリセットでの移動の解除

スピードプリセットでの移動中、下記のいずれかの操作により移動が解除されます。

スピードプリセット動作の解除方法

- Sped機能を割り付けたスイッチをもう一度押す。
- ズームシーソースイッチあるいはShtI機能/Fr1P機能/Fr2P機能/Fr1F機能/Fr2F機能を割り付けたスイッチのいずれかを操作する。

5-1-7. フレーミングプリセット（サーボのみ）

フレーミングプリセットには、以下の3種類の組み合わせがあります。

[Zoom]

あらかじめ決めた画角と移動スピード（ズームスピード）を容易に再現できます。

[Focus]

あらかじめ決めたピントを容易に再現できます。

[Z + F]

あらかじめ決めたピントと画角への移動スピード（フォーカススピード、ズームスピード）を容易に再現できます。

<Preset>	
▲ Frame1:	◀ Zoom ▶
Frame2:	Zoom
Z-speed:	800

フレーミングプリセットの設定切り換えは、ディスプレイのPreset画面で行います。Frame1の設定をZoom、Focus、Z+Fのいずれかに切り換えます。

フレーミングプリセットは、Frame1 および Frame2 の2か所までメモリーできます。次ページ以降の説明では Frame1 のみ記載しています。また、Frame1 は Fr1P と表示しています。

・ フレーミングメモリーポジションへの移動スピード選択

フレーミングポジションへの移動スピードの選択はFr1P、Fr1Fのスイッチ割り付けで行います。スイッチの割り付け方法については、「4-4.各種スイッチへの機能割り付け」あるいは取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

- Fr1P-----設定スピード (Preset Speed) (工場出荷時はAUXスイッチに割り付けられています)
- Fr1F-----最高スピード (Fast Speed)

設定組み合わせ

フレーミング プリセット 制御対象	制御内容	移動スピードの設定	
		Fr1P、Fr2P (スピード設定可能)	Fr1F、Fr2F (最高スピード)
Zoom	ズーム動作制御	ズームが設定スピードで移動	ズームが最高スピードで移動
Foucs	フォーカス動作制御	フォーカスが最高スピードで移動 ^{*1}	フォーカスが最高スピードで移動
Z+F	ズーム+フォーカス 動作制御	ズームとフォーカスが設定スピードで移動 ^{*2}	ズームとフォーカスが最高スピードで移動

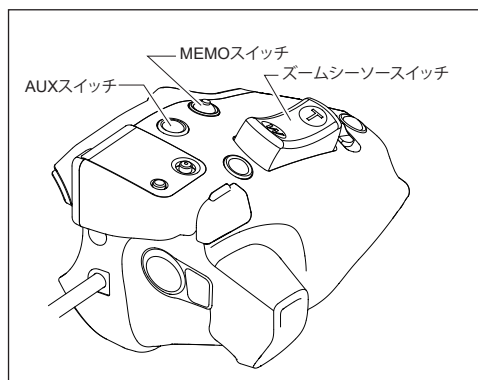
*1:フォーカススピードは最高スピードで固定されています。

*2:ズームとフォーカスは、同時に始動し同時に停止するように制御されます。

・ フレーミングプリセット [Zoom] / [Focus] / [Z+F] の設定

本取扱説明書では、AUX スwitchに Fr1P 機能を割り付けた場合について説明します。機能をほかのSwitchに割り付けている場合、掲載のイラストと実際のSwitch状態が異なりますのでご注意ください。

フレーミングメモリーポジションを設定する



- 1 任意のポジションにズーミング（およびフォーカス）し、そのポジションのまま MEMO スwitchを押しながら AUX スwitch（Fr1P 機能割り付け）を押します。

設定したフレーミングメモリーポジションはシャトルショットで設定するポジションとは別に記憶します。また、このときに設定したポジションは電源 OFF 後も記憶されます。

フレーミングメモリーポジションへ移動する

- 1 AUXスイッチ（Fr1P機能割り付け）を押すとフレーミングメモリーポジションへ選択したスピードで移動し始め、フレーミングメモリーポジションへ到達すると停止します。

フレーミングメモリーポジションへの移動を解除する、または切り換える

メモリーポジションへの移動中、下記のいずれかの操作により移動が解除されます。

ズームフレーミングプリセット動作の解除または切り換え方法

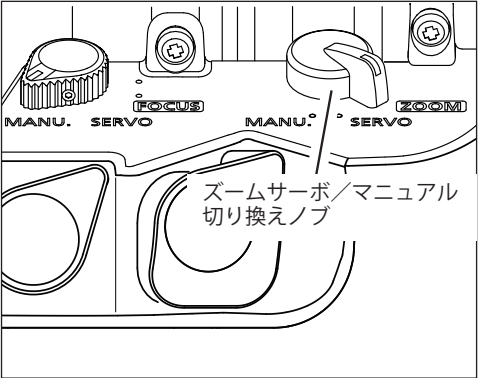
- Fr1P機能を割り付けたSwitchをもう一度押す。
- ズームセンサーSwitchの操作を行う。
- Shtf機能を割り付けたSwitchの操作を行う。

フォーカスフレーミングプリセットおよび

ズーム + フォーカスフレーミングプリセット動作の解除または切り換え方法

- 接続されたフォーカスデマンドを操作する。
(メモリーポジションへの移動は停止し、フォーカスデマンドの操作位置に移動します。)

5-1-8. クラッチレスズーム操作（クラッチレスズーム機構搭載レンズのみ）



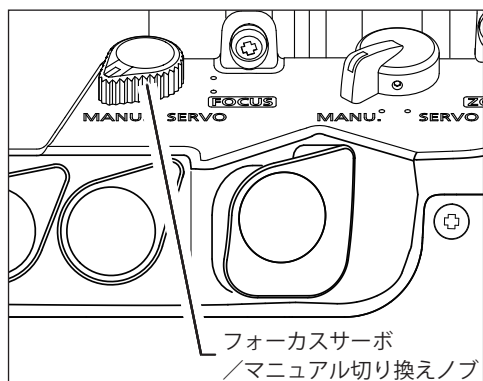
- 1 クラッチレスズーム機構を使用する場合は、ズームサーボ/マニュアル切り換えノブを SERVO 側に設定します。

『ご注意ください』
ズームサーボ中にマニュアル操作を行うと、故障の原因となることがあります。

ズームサーボ/ マニュアル切り換えノブ	クラッチレス ズーム機構	操作
SERVO	ON	サーボ操作とマニュアル操作の両方を行うときの設定 切り換え操作なしでサーボ、マニュアルの操作が可能
MANU.	OFF	マニュアル操作のみを行うときの設定

5-2. フォーカス操作

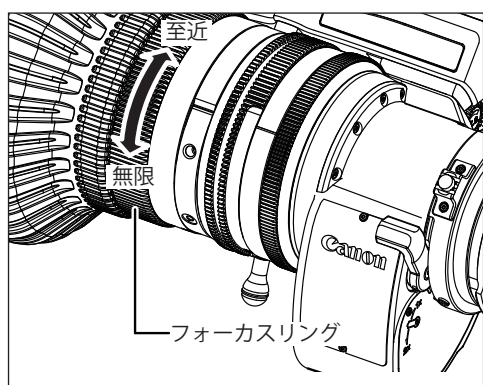
5-2-1. マニュアルフォーカス操作



- 1 フォーカスサーボ / マニュアル切り換えノブを MANU. 側にします。

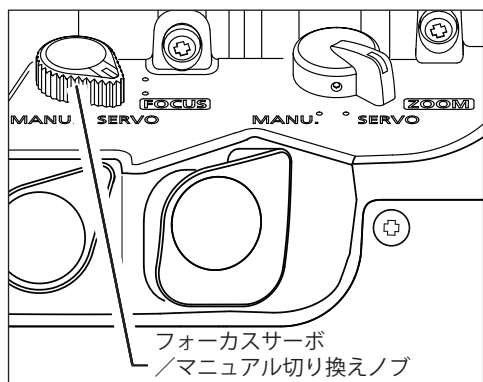
『ご注意ください』

切り換えノブが SERVO 側のまま無理にフォーカスリングを回転させると、故障の原因となることがあります。

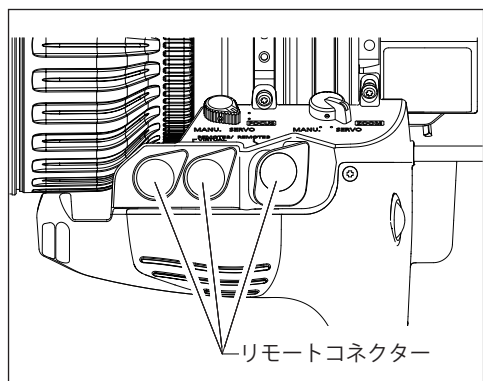


- 2 フォーカスリングを回転させて、至近側または無限側の被写体に焦点（ピント）を合わせます。

5-2-2. サーボフォーカス操作



- 1 フォーカスサーボ / マニュアル切り換えノブを SERVO 側にします。

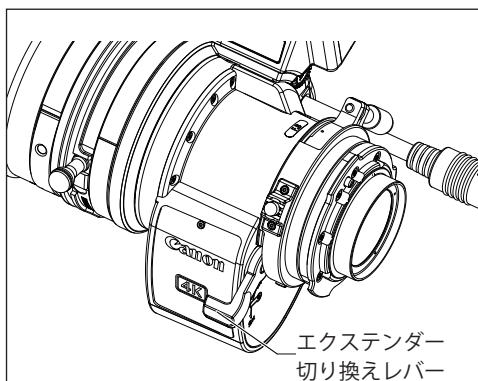


- 2 フォーカスデマンドなどのアクセサリをリモートコネクターに接続します。操作方法については、ご使用になるアクセサリの取扱説明書をご覧ください。

『ご注意ください』

USB デバイス（USB メモリー）の読み出し、書き込みを行っている場合は、ズーム、フォーカス操作はマニュアル操作のみ可能です。

5-3. エクステンダー操作



- 1 エクステンダー内蔵レンズには、2× エクステンダーが内蔵されています。エクステンダー切り換えレバーを操作して、1× / 2× を選択します。

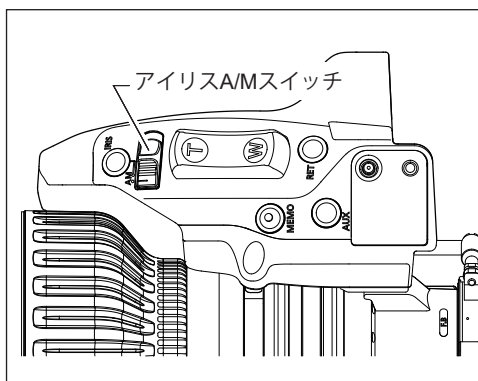
『ご注意ください』

エクステンダーを使用すると、アイリス補正の設定によってはその変倍分だけ光量が低下します。

5-4. アイリス操作

アイリスA/Mスイッチによりアイリスのオート／マニュアル操作を選択できます。アイリスA/Mスイッチの動作はディスプレイで設定できます。本取扱説明書ではアイリスA/Mスイッチを『Norm (標準)』動作に設定した場合について説明します。

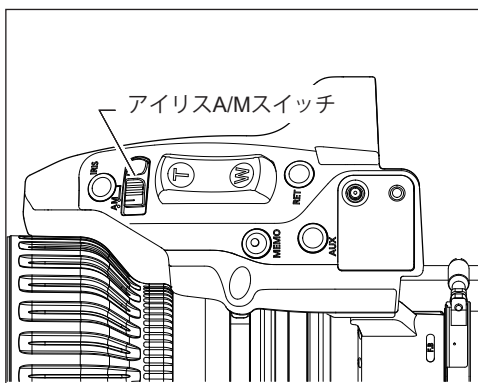
5-4-1. オートアイリス操作



- 1 アイリス A/M スwitchを“A” (オート設定) 側にします。カメラからの指令信号によるオート (自動) アイリス操作になります。ビデオ信号レベルを常に一定に保ちます。

ディスプレイでのオートアイリスゲインの調整や設定が可能です。詳細は本取扱説明書『4-3. オートアイリスゲインの調整』および取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

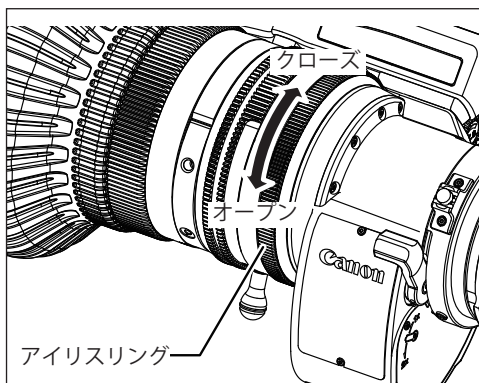
5-4-2. マニュアルアイリス操作



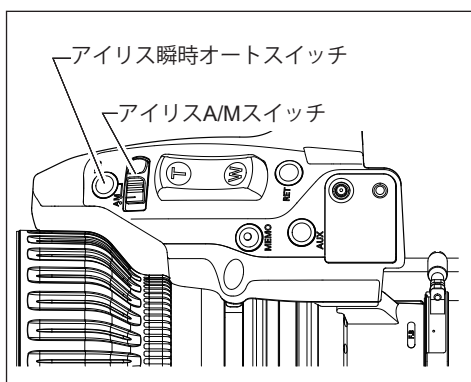
- 1 アイリスA/Mスイッチを“M” (マニュアル設定) 側にします。

『ご注意ください』

マニュアルアイリス操作を行うときは、必ずアイリス A/M スwitchをマニュアル設定側にしてから行ってください。オート設定側のまま強引にマニュアルアイリス操作を行うと、故障の原因となることがあります。



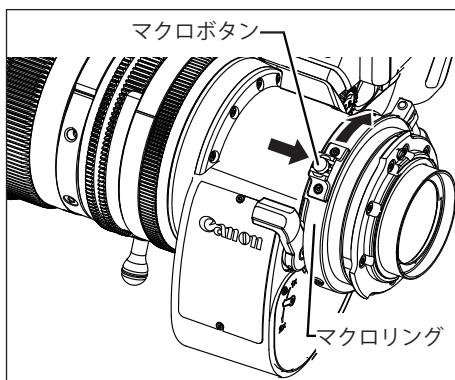
- 2 レンズ本体のアイリスリングを手動で回してアイリス操作を行います。



- 3 アイリスをマニュアル操作で撮影中に、アイリス瞬時オートスイッチを押すと、押している間だけオートアイリス状態になります。

5-5. マクロ操作

小さな被写体を、至近距離 (M.O.D.) よりさらに近接して撮影する場合に使用します。最短で1cm (ワイド端、マクロ位置) まで近づいて接写できます。



- 1 マニュアルまたはサーボによりズームを広角 (ワイド) 端に移動します。
- 2 マクロボタンを押してロックを解除し、押したままの状態でもクロリングを回転させ、ピントを合わせます。

広角端以外でもマクロ操作は可能ですが、近接距離が長くなります。

多点フォーカス撮影について

マクロ撮影の状態からズーム操作で焦点距離を変えていくと、ピントの合う位置も変化していきます。この特性を利用して、ズーム操作だけで、同一カット内でピントの合う位置をずらしていく特殊技法が多点フォーカス撮影です。撮影の手順は次のとおりです。

- 1 遠方の被写体にズームアップし、通常のフォーカス操作でピントを合わせます。
- 2 ズームを広角 (ワイド) 側に引いて、近距離の被写体にマクロ操作でピントを合わせます。
- 3 マクロボタンを2の状態にしたまま、再度遠方の被写体にズームアップし、通常のフォーカス操作でピントを合わせます。

6 USB コネクター

6-1. USB コネクターの利用

6-1-1. USB コネクター仕様

ドライブユニットのUSBコネクターにUSBデバイス（USBメモリー）を接続することで以下の機能を使用することが可能です。接続するUSBデバイス（USBメモリー）についてはお客様が事前にご準備ください。

1. ファームウェアの更新

製品ファームウェアの更新をお客様ご自身で実施いただくことが可能です。製品ファームウェアの配信開始以降は、以下のホームページから最新バージョンをダウンロードすることができます。

<https://cam.start.canon/>

2. ユーザー設定のエクスポート / インポート

ユーザーごとに設定した内容を USB デバイス（USB メモリー）にエクスポート（書き出し）し、別の機材にインポート（読み込み）することで、異なる機材を同じ設定でご利用できます。

3. レンズ管理情報 / サービスログのエクスポート

ご使用レンズの型名、シリアル番号などの管理情報を記録したログやレンズの作動履歴などを記録したサービスログを USB デバイス（USB メモリー）にエクスポート（書き出し）できます。お客様の機材管理やサービス対応時にご利用ください。

詳細については、取扱説明書「情報ディスプレイ」をご覧ください。

6-1-2. USB ホストとの接続

ドライブユニットの USB コネクターに USB ホスト (PC) を接続することで、以下の機能を使用することが可能です。接続する USB ホスト (PC) についてはお客様が事前にご準備ください。

1. レンズ管理情報の参照

レンズをUSBホスト(PC)と接続すると、USBホスト(PC)側では複数のテキストファイルが保存されたUSBデバイス(USBメモリー)として識別されます。テキストファイルには、ご使用レンズの型名、シリアル番号などの管理情報が含まれています。テキストファイルの情報は、お客様の機材管理やサービス対応時にご利用ください。各テキストファイルの詳細については、保存されているreadme.txtに説明がございますので、ご確認ください。

6-1-3. USB コネクター仕様

ドライブユニットに設けた USB コネクターの仕様は以下の通りです。

端子形状：USB Type-C® [通信速度：Full-Speed (12Mbps)]

USB Type-C® および USB-C® は USB Implementers Forum の登録商標です。

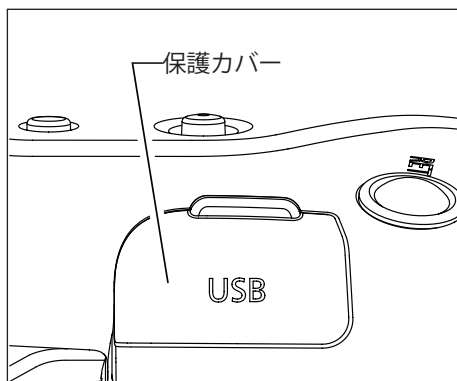
『ご注意ください』

USBデバイス（USBメモリー）の読み出し、書き込みを行っている場合は、ズーム、フォーカス操作はマニュアル操作のみ可能です。

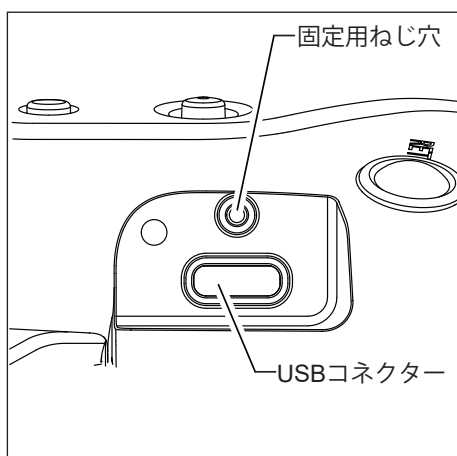
USBデバイス（USBメモリー）の読み出し、書き込みはズーム、フォーカスのサーボ操作を行っていない時に実施してください。

6-1-4. 接続ケーブルの抜け防止

USB Type-C® のシングルスクリューロックタイプ相当のケーブルを利用して、接続したケーブルの抜けを防止することができます。



1 保護カバーを開きます。



2 ご利用のケーブルを USB コネクターに接続します。

3 接続するケーブルのねじを固定用ねじ穴に入れて、ねじを締めます。

『ご注意ください』

USBコネクターをご使用にならない時には、ほこりや水などから接点を保護するため保護カバーを閉めてください。

6-2. USBデバイス (USBメモリー) 仕様

ドライブユニットの USB コネクターに接続する USB デバイス (USB メモリー) の仕様は以下の通りです。

端子形状：USB Type-C® [通信速度：Full-Speed (12Mbps)]

ファイルフォーマット：FAT16またはFAT32

容量：FAT32 フォーマット 32GB 推奨

USB Type-C® および USB-C® は USB Implementers Forum の登録商標です。

『ご注意ください』

USBコネクターに接続しても認識されないUSBデバイス(USBメモリー)がありますので、ご利用の前にご確認ください。

6-3. USBホスト(PC)仕様

ドライブユニットの USB コネクタに接続する USB ホスト (PC) の仕様は以下の通りです。

USBデバイスクラス：USBマスストレージクラスに対応すること。

ファイルフォーマット：FAT16を読み取り可能なこと。

7 製品仕様

UHDxs

			CJ15ex4.3B	CJ20ex5B
焦点距離	1×		4.3-65mm	5-100mm
	2×		8.6-130mm	10-200mm
ズーム比			15×	20×
最大口径比	1×		1:1.8 (at 4.3-40mm) 1:2.9 (at 65mm)	1:1.8 (at 5-61mm) 1:2.95 (at 100mm)
	2×		1:3.6 (at 8.6-80mm) 1:5.8 (at 130mm)	1:3.6 (at 10-122mm) 1:5.9 (at 200mm)
有効画面寸法			対角 11mm (9.6 × 5.4 mm)	
包括角度	広角端	1×	96.3° × 64.2°	87.7° × 56.7°
		2×	58.3° × 34.9°	51.3° × 30.2°
	望遠端	1×	8.4° × 4.8°	5.5° × 3.1°
		2×	4.2° × 2.4°	2.7° × 1.5°
至近距離 (マクロ時 前玉より 10mm)			0.3m	0.4m
至近での撮像範囲	広角端	1×	76.1 × 42.8cm	87.1 × 49.0cm
		2×	38.1 × 21.4cm	43.6 × 24.5cm
	望遠端	1×	4.9 × 2.8cm	4.2 × 2.4cm
		2×	2.5 × 1.4cm	2.1 × 1.2cm
フランジバック			48mm (空気換算)	
フィルター径			127mm P0.75 (フード内)	
全域ズーム作動時間			最高速度 約 0.5s (常温、IASE T)	
全域フォーカス作動時間			約 1.3s (常温)	
アイリス操作			サーボまたはマニュアル	
マウント			B4	
入力電圧			DC12V (DC10 ～ 17V)	
消費電流			最大 1.5A	
使用環境条件			温度：－ 20℃ ～ ＋ 45℃ 相対湿度：5%RH より 95% RH の範囲 (結露を生じないこと)	
サイズ (W × H × L) (約、mm)			163.0 × 110.3 × 249.6	166.2 × 113.5 × 251.7
質量			約 2.21kg (IASE T)	約 2.29kg (IASE T)

UHDxs

			CJ25ex7.6B	CJ27ex7.3B
焦点距離		1×	7.6-190mm	7.3-197mm
		2×	15.2-380mm	14.6-394mm
ズーム比			25×	27×
最大口径比		1×	1:1.8 (at 7.6-118mm) 1:2.9 (at 190mm)	1:1.8 (at 7.3-120mm) 1:2.95 (at 197mm)
		2×	1:3.6 (at 15.2-236mm) 1:5.8 (at 380mm)	1:3.6 (at 14.6-240mm) 1:5.9 (at 394mm)
有効画面寸法			対角 11mm (9.6 × 5.4 mm)	
包括角度	広角端	1×	64.6° × 39.1°	66.7° × 40.6°
		2×	35.1° × 20.1°	36.4° × 21.0°
	望遠端	1×	2.89° × 1.63°	2.79° × 1.57°
		2×	1.45° × 0.81°	1.40° × 0.79°
至近距離 (マクロ時 前玉より 10mm)			0.8m	
至近での撮像範囲	広角端	1×	93.9 × 52.8cm	98.0 × 55.1cm
		2×	47.0 × 26.4cm	49.0 × 27.6cm
	望遠端	1×	3.9 × 2.2cm	3.8 × 2.1cm
		2×	2.0 × 1.1cm	1.9 × 1.1cm
フランジバック			48mm (空気換算)	
フィルター径			94mm P1.0 (レンズ鏡筒) または 105mm P1.0 (フード内)	
全域ズーム作動時間			最高速度 約 0.5s (常温、IASE T)	
全域フォーカス作動時間			約 1.3s (常温)	
アイリス操作			サーボまたはマニュアル	
マウント			B4	
入力電圧			DC12V (DC10 ～ 17V)	
消費電流			最大 1.5A	
使用環境条件			温度：－ 20℃ ～ ＋ 45℃ 相対湿度：5%RH より 95% RH の範囲 (結露を生じないこと)	
サイズ (W × H × L) (約、mm)			169.5 × 116.8 × 223.6	169.9 × 117.2 × 229.0
質量			約 2.01kg (IASE T)	約 2.10kg (IASE T)

UHDgc

			CJ14ex4.3B	CJ18ex7.6B	
焦点距離		1×	4.3-60mm	7.6-137mm	
		2×	8.6-120mm	15.2-274mm	
ズーム比			14×	18×	
最大口径比		1×	1:1.8 (at 4.3-40mm) 1:2.7 (at 60mm)	1:1.8 (at 7.6-103mm) 1:2.4 (at 137mm)	
		2×	1:3.6 (at 8.6-80mm) 1:5.4 (at 120mm)	1:3.6 (at 15.2-206mm) 1:4.8 (at 274mm)	
有効画面寸法			対角 11mm (9.6 × 5.4 mm)		
包括角度		広角端	1×	96.3° × 64.2°	64.6° × 39.1°
			2×	58.3° × 34.9°	35.1° × 20.1°
		望遠端	1×	9.1° × 5.2°	4.0° × 2.3°
			2×	4.6° × 2.6°	2.0° × 1.1°
至近距離 (マクロ時 前玉より 10mm)			0.3m	0.56m	
至近での撮像範囲		広角端	1×	76.5 × 43.0cm	65.5 × 36.8cm
			2×	38.3 × 21.5cm	32.8 × 18.4cm
		望遠端	1×	5.2 × 2.9cm	3.8 × 2.1cm
			2×	2.6 × 1.5cm	1.9 × 1.1cm
フランジバック			48mm (空気換算)		
フィルター径			127mm P0.75 (フード内)	82mm P0.75 (フード内)	
全域ズーム作動時間			最高速度 約 0.5s (常温、IASE T)		
全域フォーカス作動時間			約 1.3s (常温)		
アイリス操作			サーボまたはマニュアル		
マウント			B4		
入力電圧			DC12V (DC10 ～ 17V)		
消費電流			最大 1.5A		
使用環境条件			温度：－ 20℃ ～ ＋ 45℃ 相対湿度：5%RH より 95% RH の範囲 (結露を生じないこと)		
サイズ (W × H × L) (約、mm)			163.4 × 110.7 × 247.8	160.4 × 107.7 × 206.2	
質量			約 2.19kg (IASE T)	約 1.75kg (IASE T)	

UHDgc

			CJ18ex28B	CJ24ex7.5B
焦点距離	1×		28-500mm	7.5-180mm
	2×		56-1000mm	15-360mm
ズーム比			18×	24×
最大口径比	1×		1:2.8 (at 28-286mm) 1:4.9 (at 500mm)	1:1.8 (at 7.5-120mm) 1:2.7 (at 180mm)
	2×		1:5.6 (at 56-572mm) 1:9.8 (at 1000mm)	1:3.6 (at 15-240mm) 1:5.4 (at 360mm)
有効画面寸法			対角 11mm (9.6 × 5.4 mm)	
包括角度	広角端	1×	19.5° × 11.0°	65.2° × 39.6°
		2×	9.8° × 5.5°	35.5° × 20.4°
	望遠端	1×	1.10° × 0.62°	3.06° × 1.72°
		2×	0.55° × 0.31°	1.53° × 0.86°
至近距離 (マクロ時 前玉より 10mm)			2.2m	0.8m
至近での撮像範囲	広角端	1×	71.0 × 39.9cm	96.1 × 54.1cm
		2×	35.5 × 20.0cm	48.1 × 27.0cm
	望遠端	1×	4.1 × 2.3cm	4.1 × 2.3cm
		2×	2.1 × 1.2cm	2.1 × 1.2cm
フランジバック			48mm (空気換算)	
フィルター径			127mm P0.75 (フード内)	94mm P1.0 (レンズ鏡筒) または 105mm P1.0 (フード内)
全域ズーム作動時間			最高速度 約 0.5s (常温、IASE T)	
全域フォーカス作動時間			約 1.3s (常温)	
アイリス操作			サーボまたはマニュアル	
マウント			B4	
入力電圧			DC12V (DC10 ～ 17V)	
消費電流			最大 1.5A	
使用環境条件			温度：－ 20℃ ～ ＋ 45℃ 相対湿度：5%RH より 95% RH の範囲 (結露を生じないこと)	
サイズ (W × H × L) (約、mm)			177.8 × 123.7 × 268.3	164.5 × 111.8 × 221.4
質量			約 2.79kg (IASE T)	約 1.92kg (IASE T)

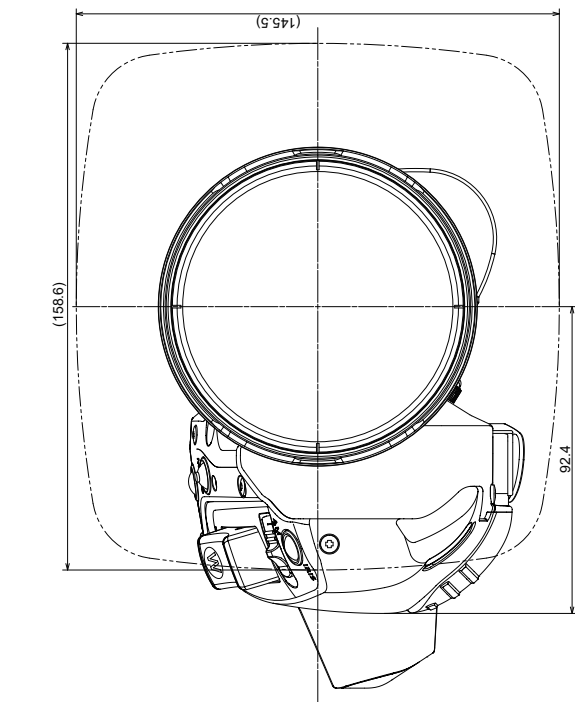
外觀図

外観図

1. CJ15ex4.3B IASE T
2. CJ20ex5B IASE T
3. CJ25ex7.6B IASE T
4. CJ27ex7.3B IASE T
5. CJ14ex4.3B IASE T
6. CJ18ex7.6B IASE T
7. CJ18ex28B IASE T
8. CJ24ex7.5B IASE T

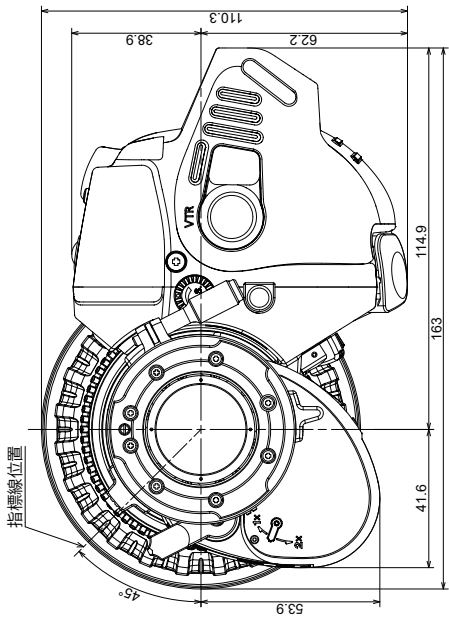
クラッチレスタイプは外観が一部異なります。

1. CJ15ex4.3B IASE T

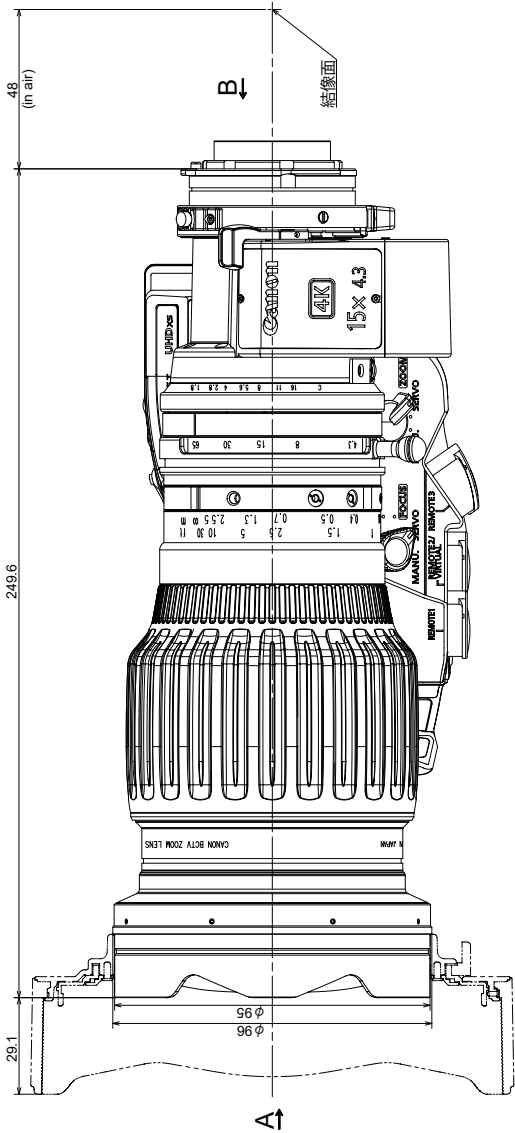
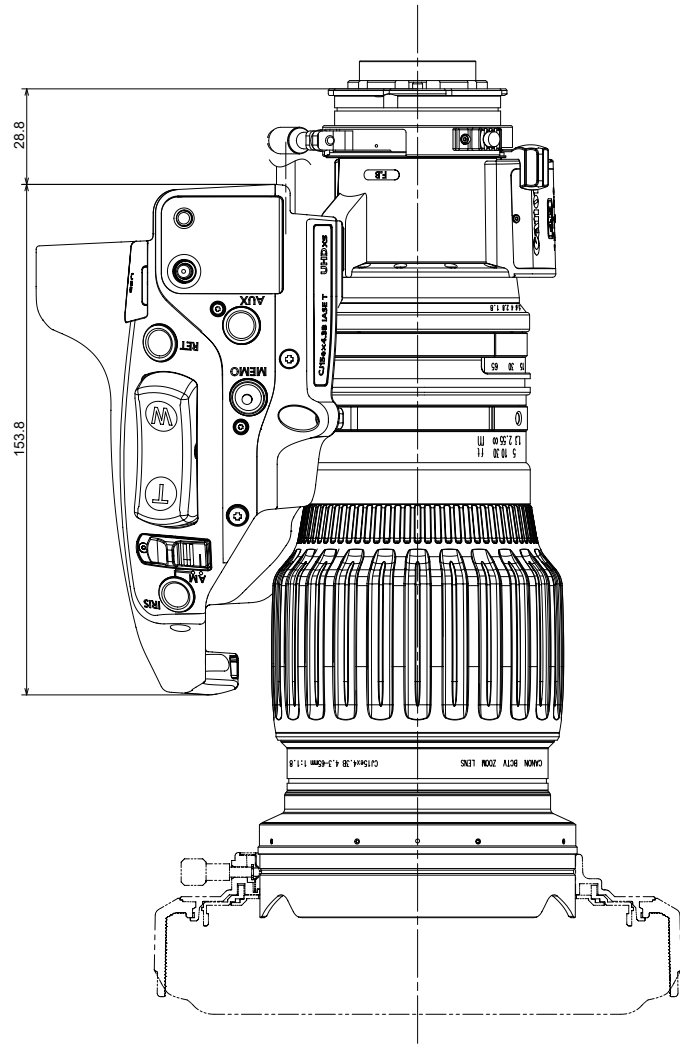


(Unit : mm)

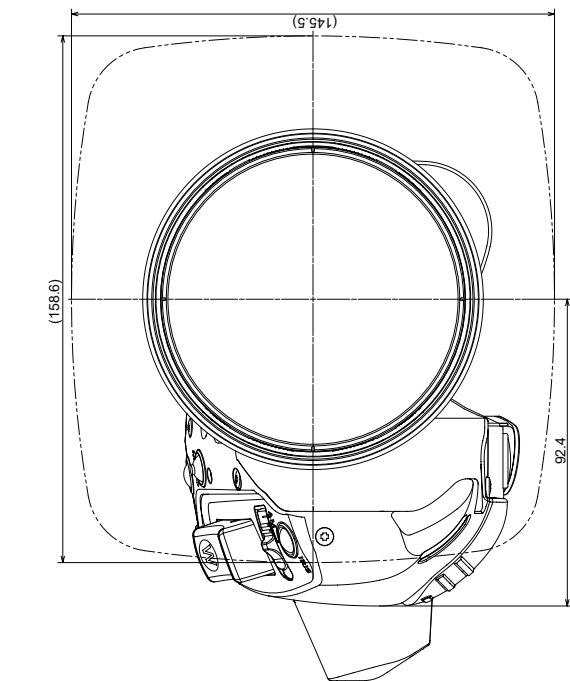
View A



View B

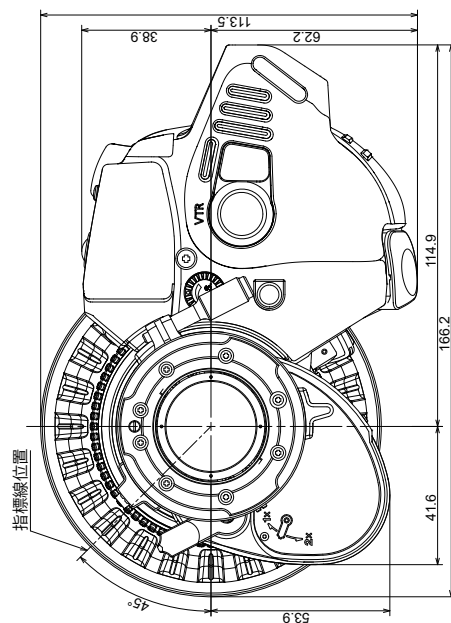


2. CJ20ex5B IASE T

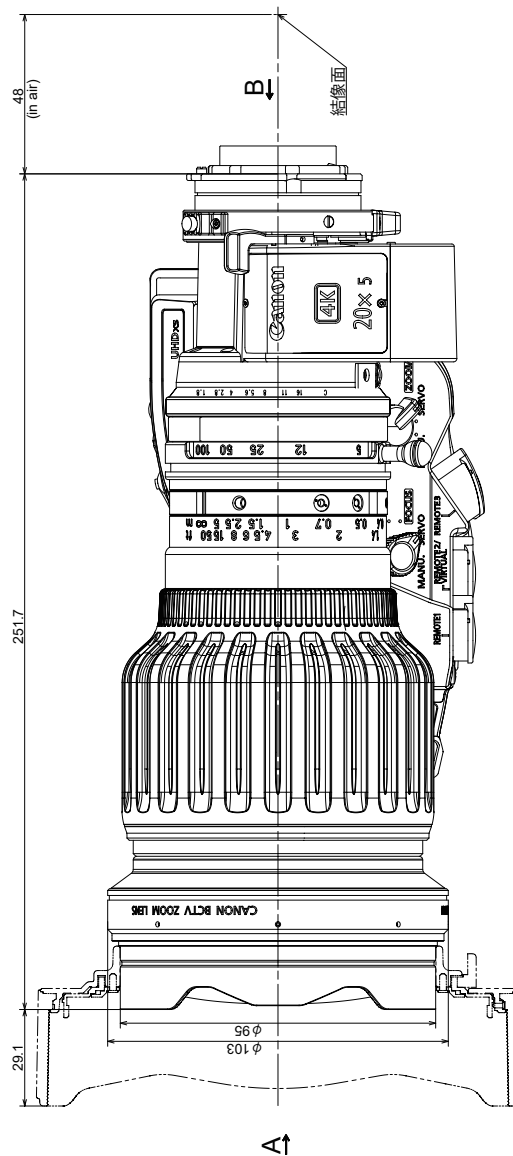
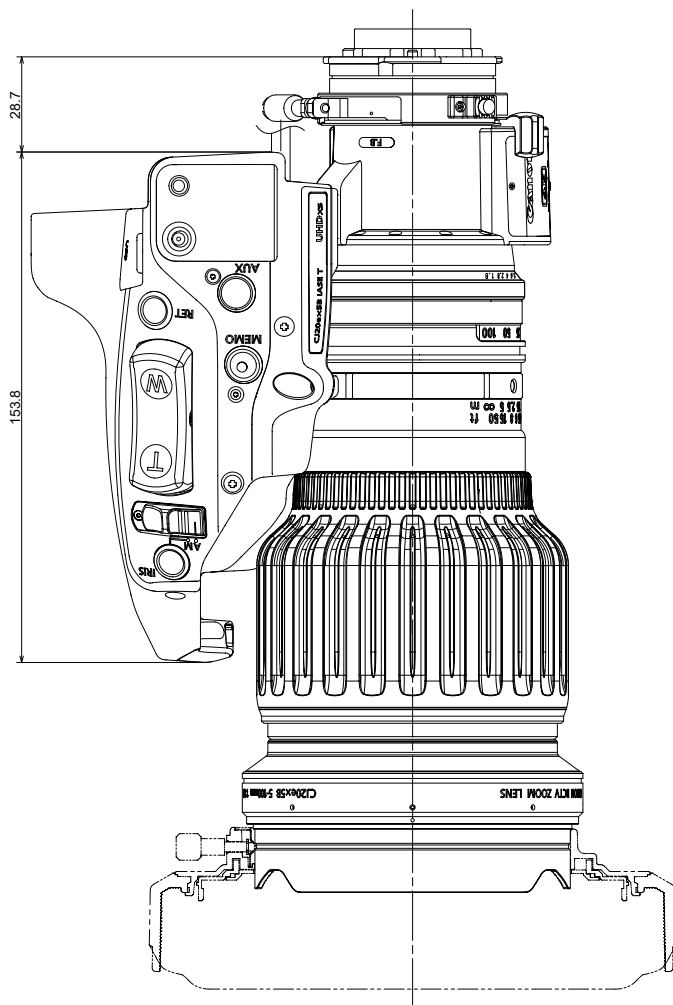


(Unit : mm)

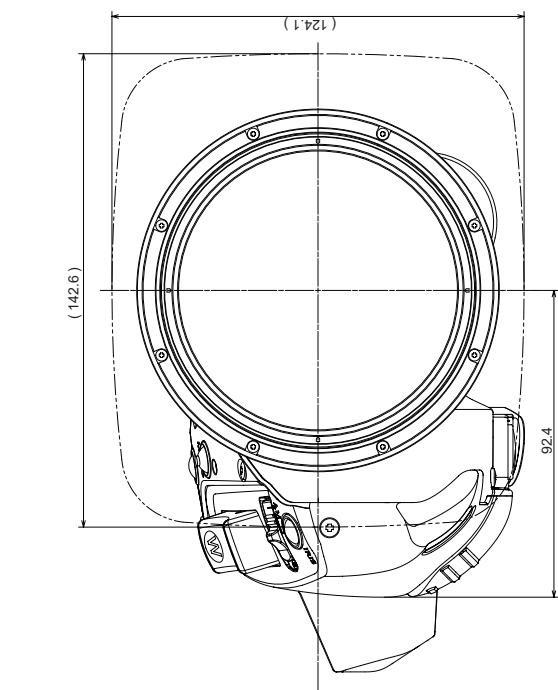
View A



View B

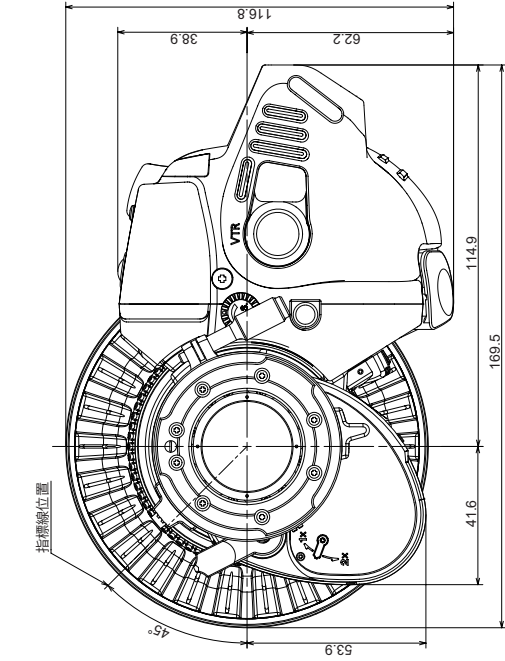


3. CJ25ex7.6B IASE T

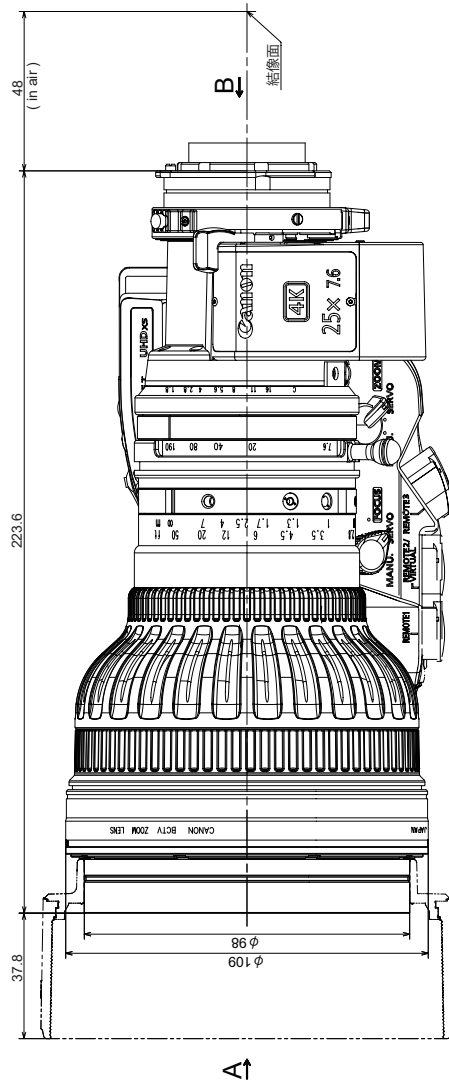
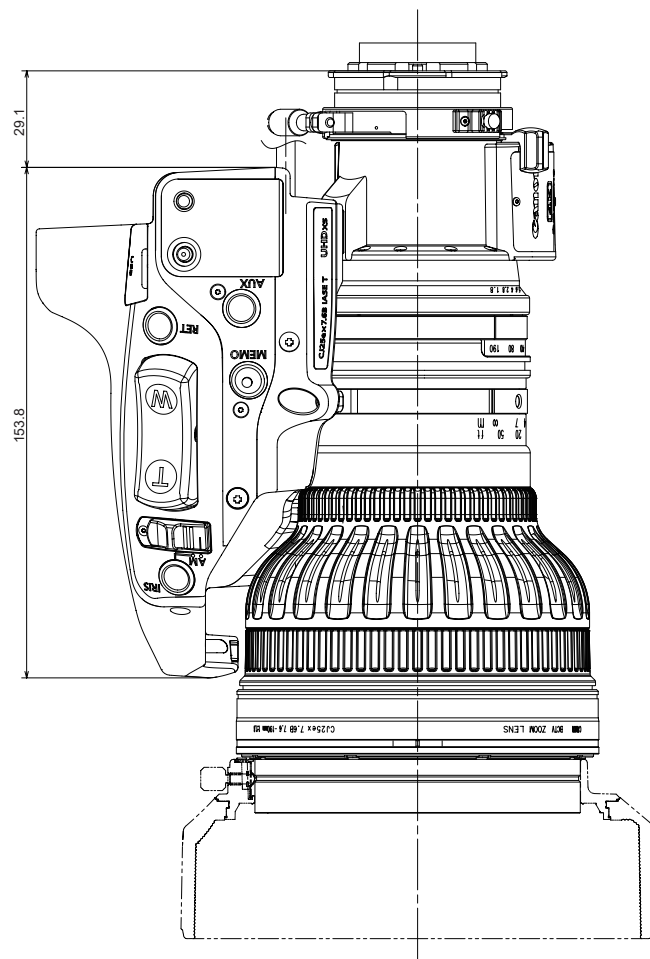


View A

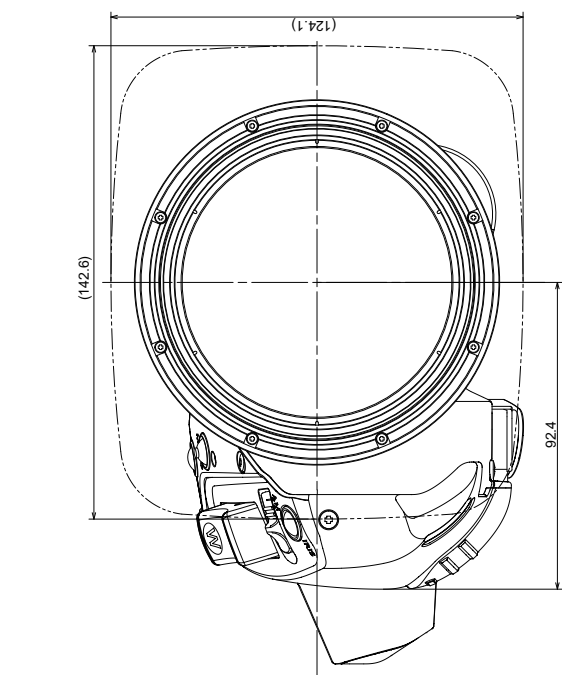
(Unit : mm)



View B

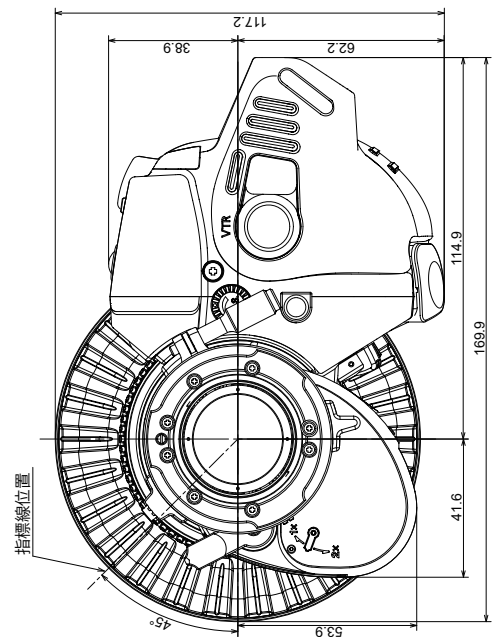
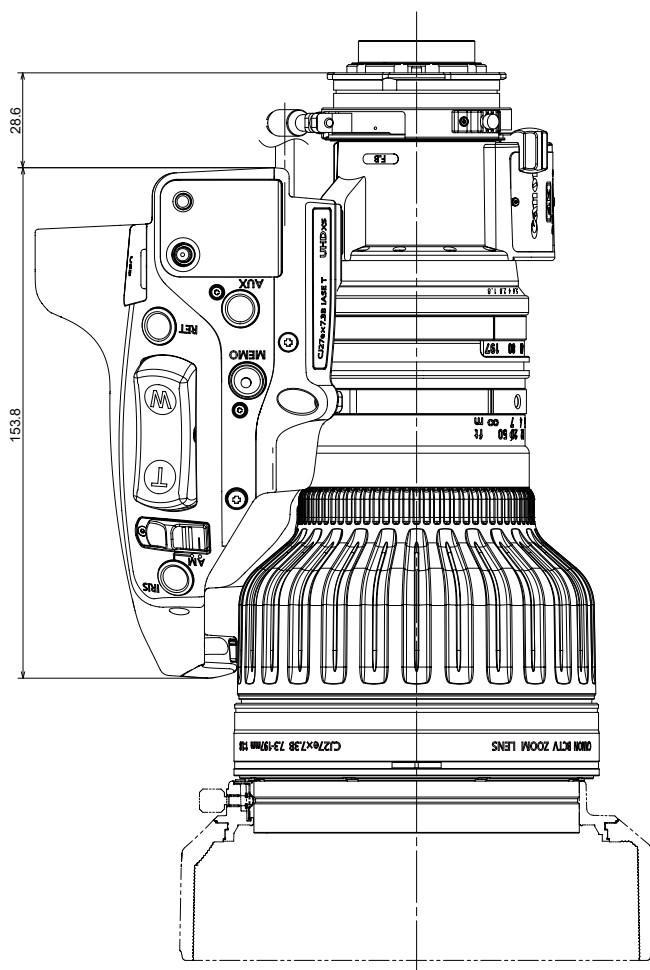


4. CJ27ex7.3B IASE T

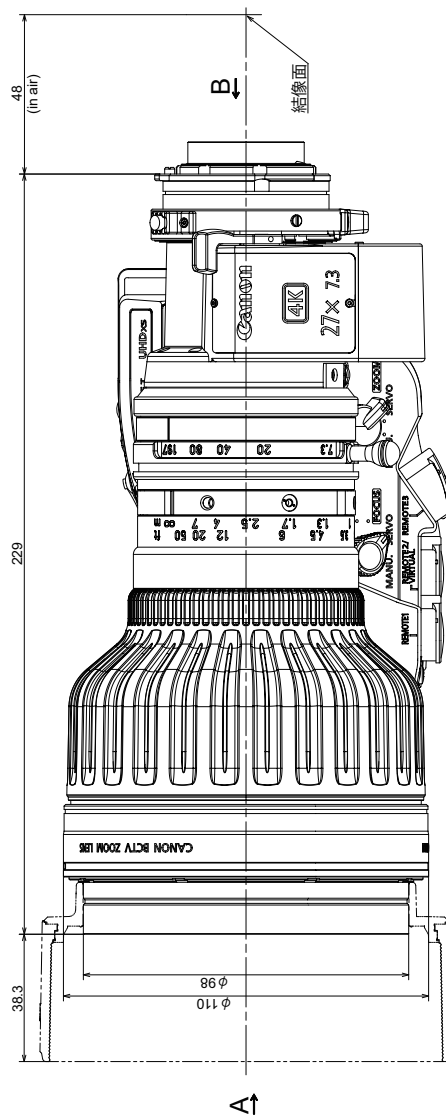


View A

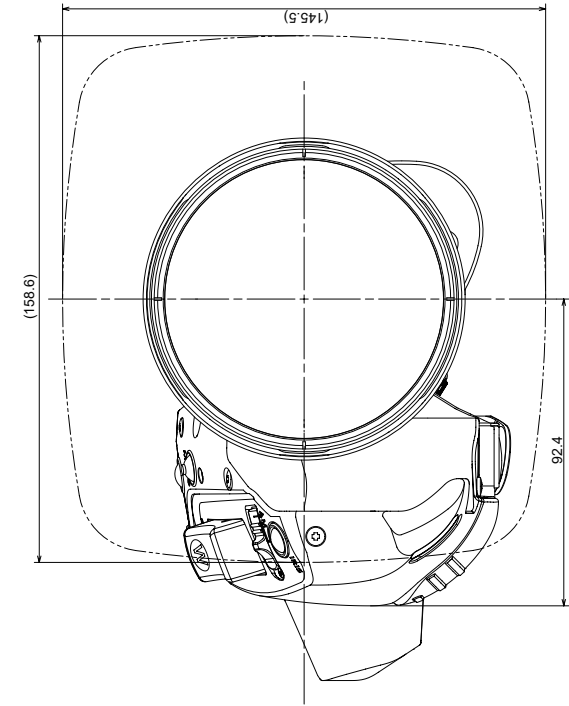
(Unit : mm)



View B

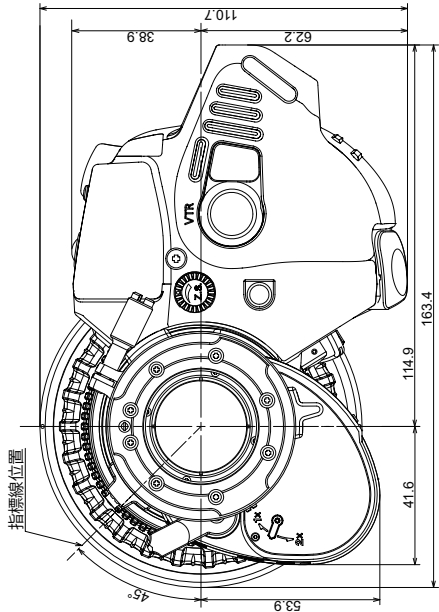


5. CJ14ex4.3B IASE T

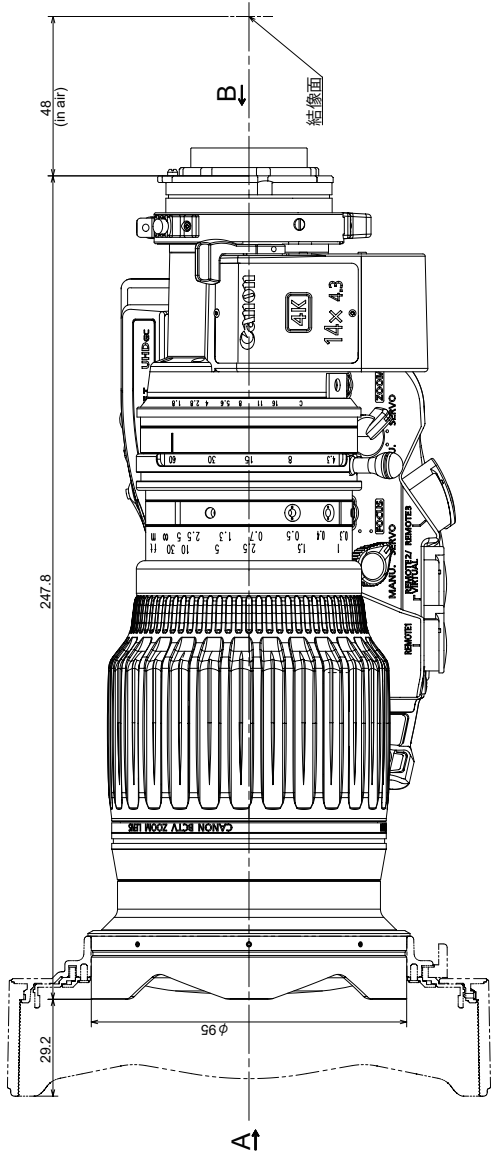
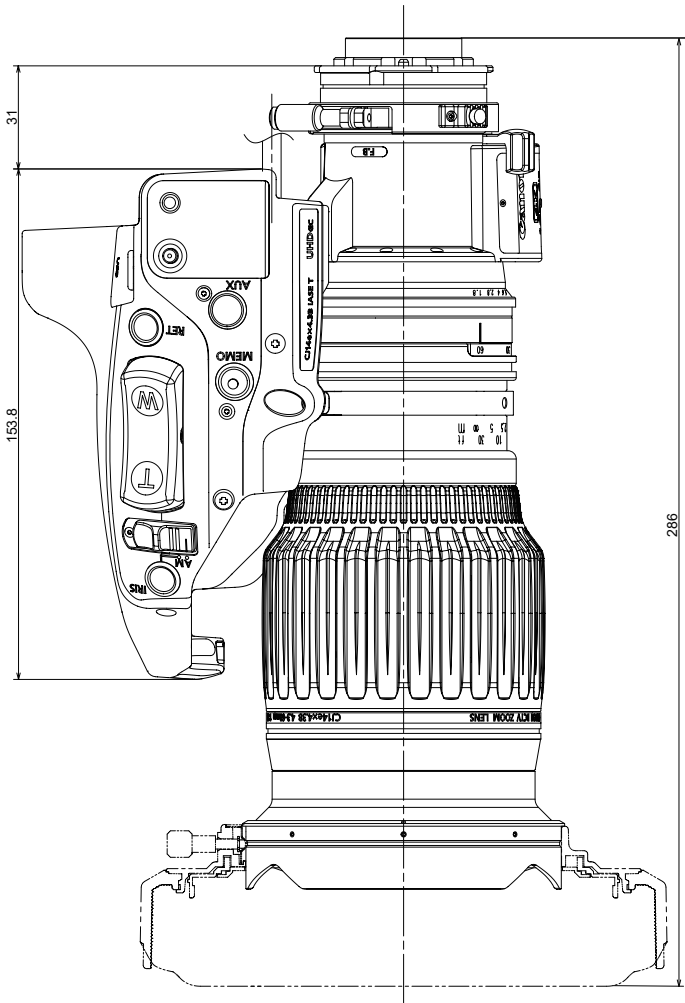


(Unit : mm)

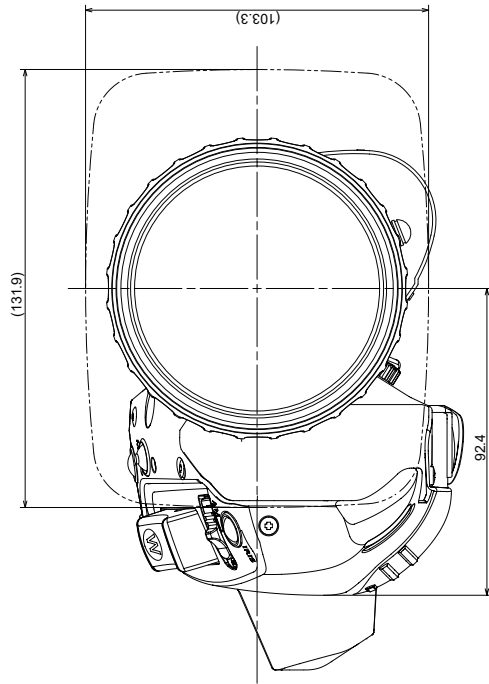
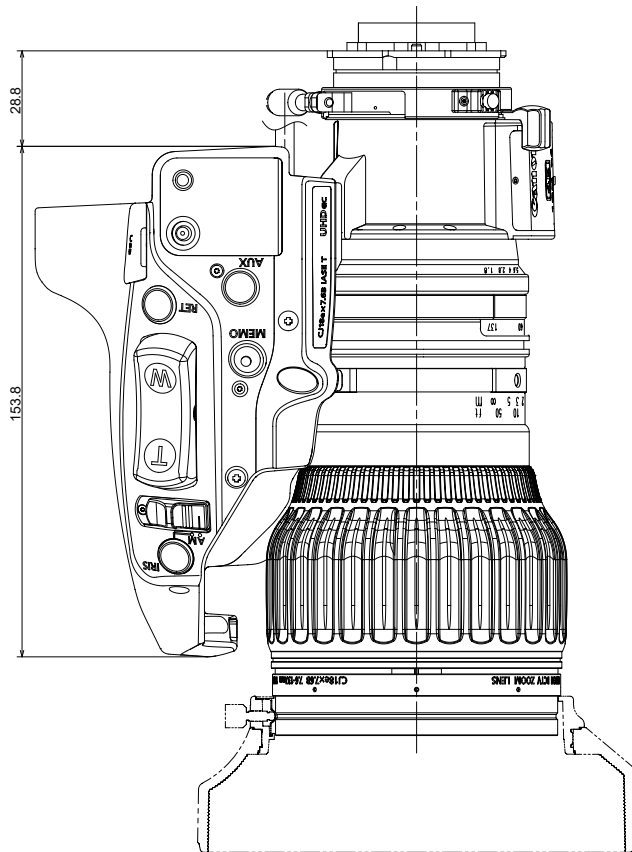
View A



View B

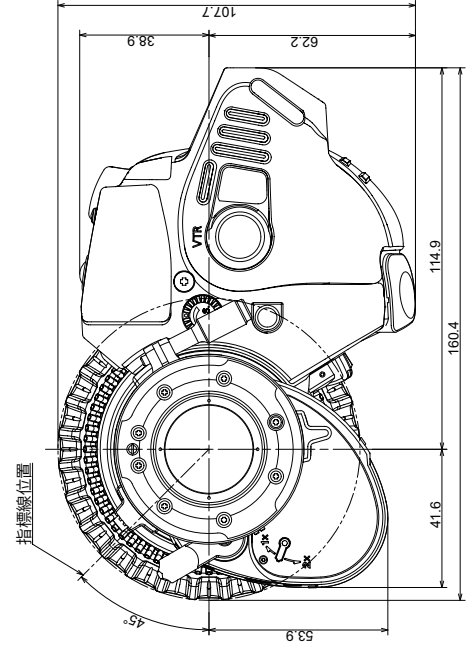
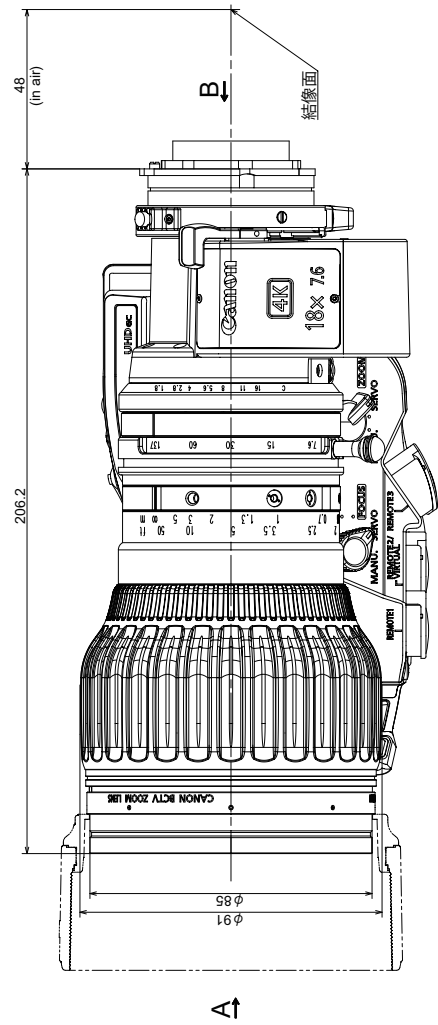


6. CJ18ex7.6B IASE T



View A

(Unit : mm)

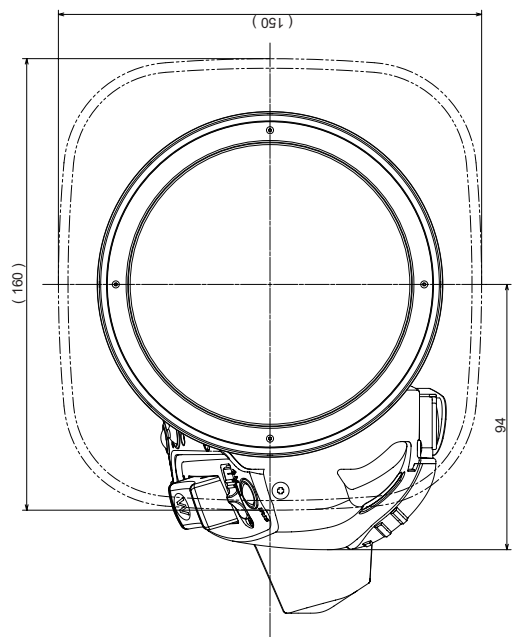


View B

結像面

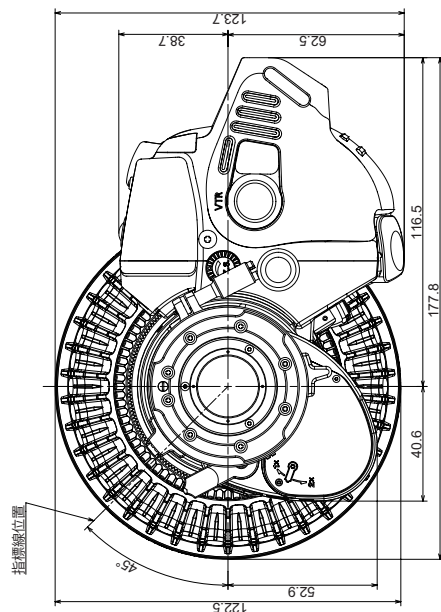
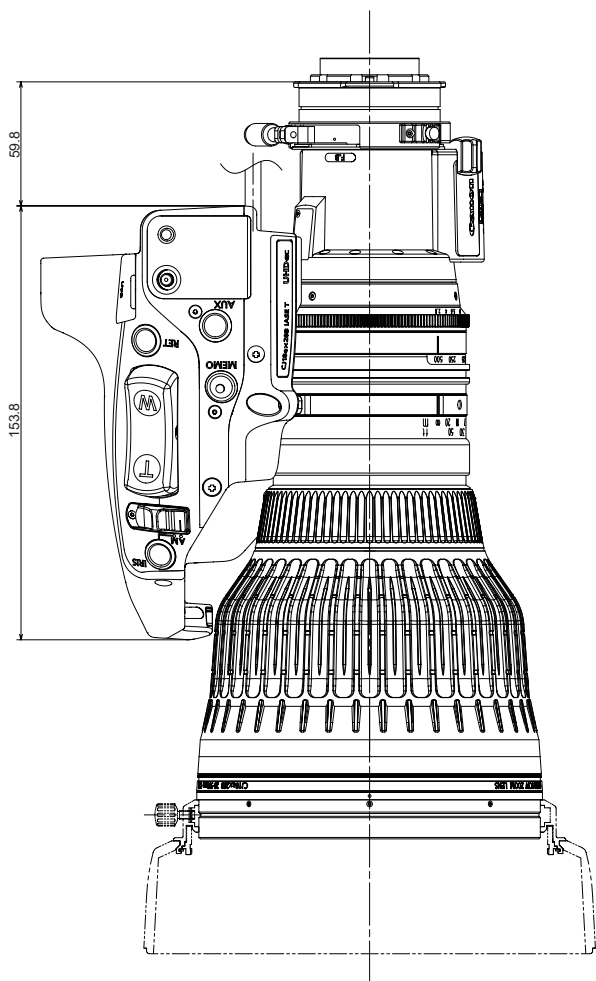
A

7. CJ18ex28B IASE T

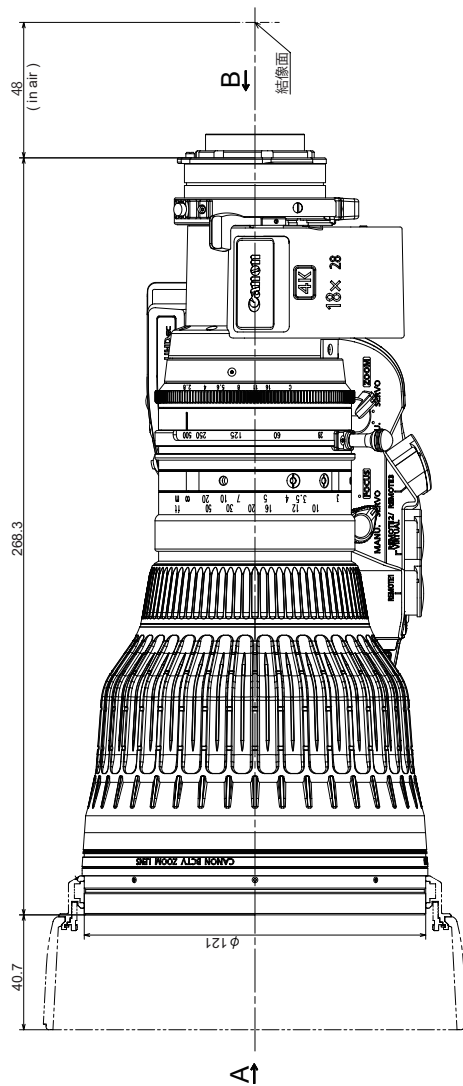


View A

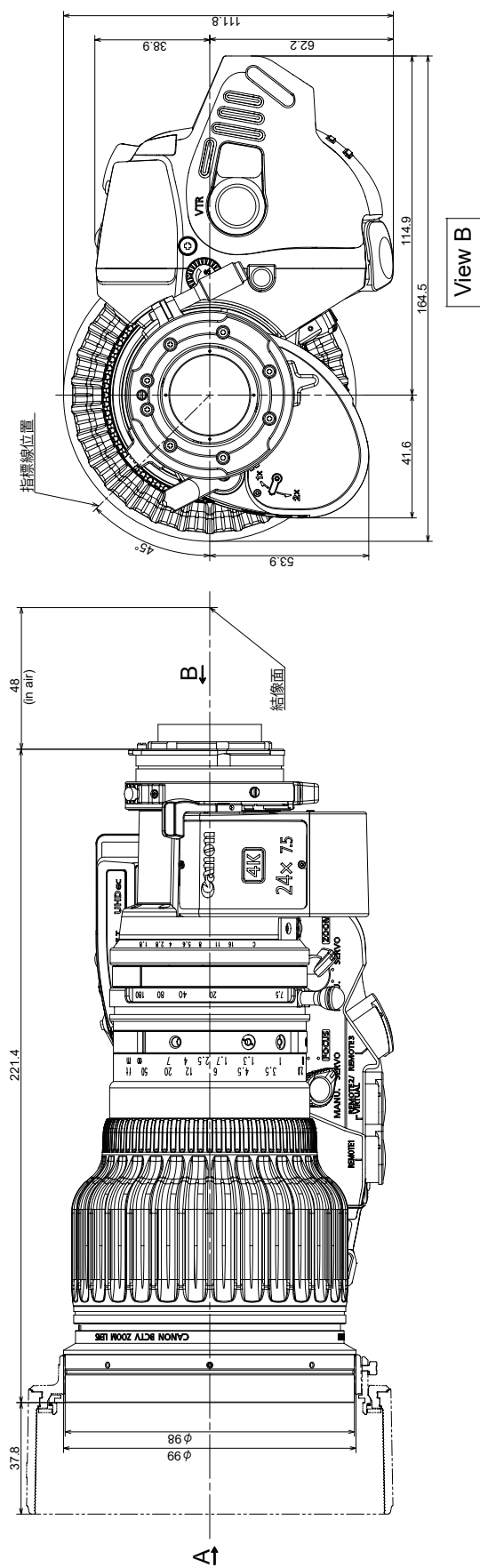
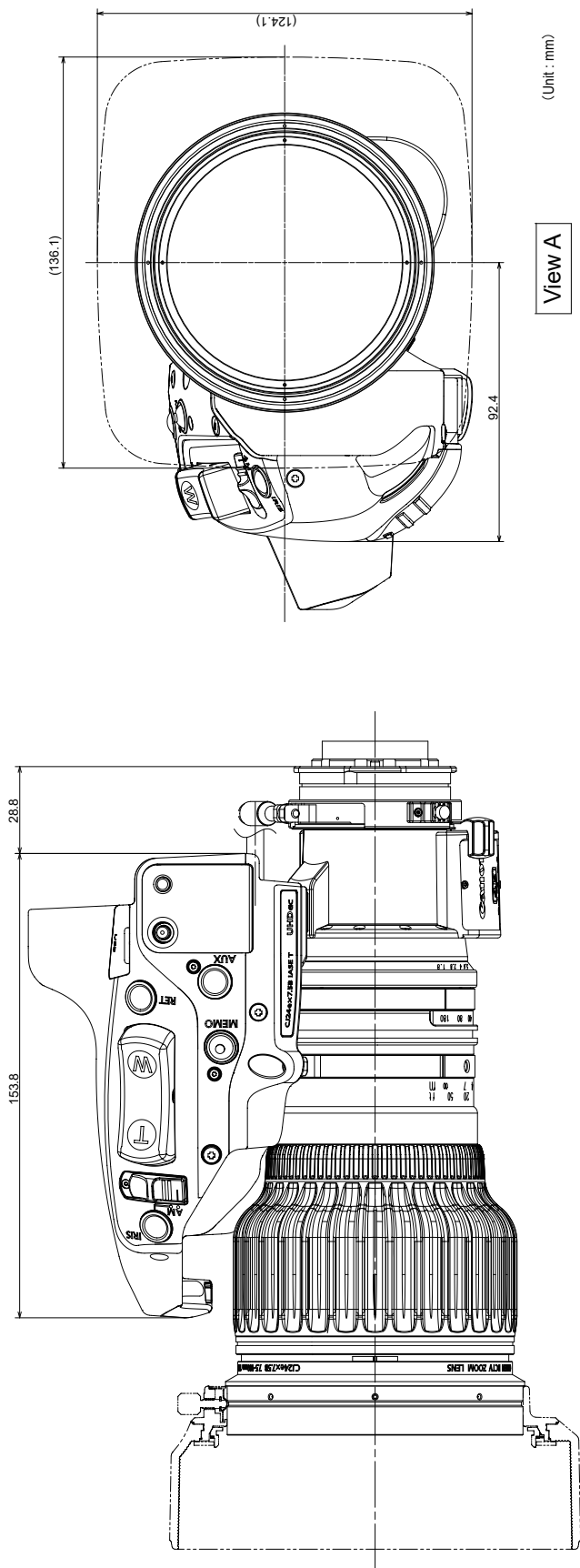
(Unit : mm)



View B



8. CJ24ex7.5B IASE T





キャノン株式会社

〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2